

569-71



\*1200600047638\*

569

71



3.9.13

持續電波式送受信練習機甲取扱法

陸普第三三九二號

持續電波式送受信練習機甲取扱法規定ノ件達

關係陸軍部隊

持續電波式送受信練習機甲取扱法別冊ノ通定ム

昭和二年八月一日

陸軍大臣 白川 義



569-71

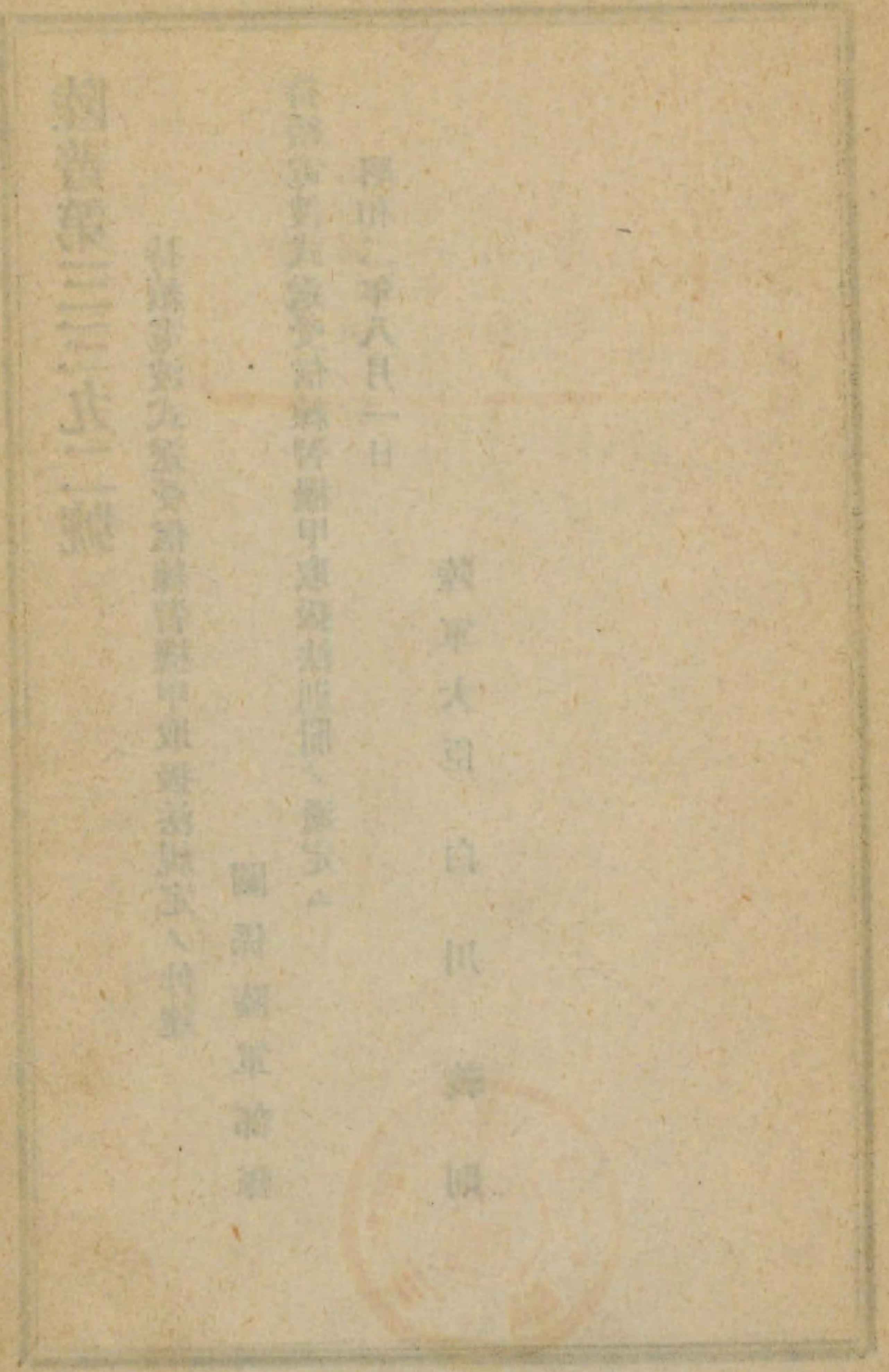
# 持續電波式送受信練習機甲取扱法

## 目次

總說	.....	一
第一部 構造	.....	一
第一章 通信機	.....	二
第一節 送信裝置	.....	三
第二節 受信裝置	.....	八
第二章 電源	.....	一二
第三章 棒型空中線	.....	一四
第四章 附屬品	.....	一四

目次

一



第五章	定數及主要諸元	一六
第二部	取扱法	一七
第一章	配置	一七
第二章	接續	一八
第三章	調整	一九
第一節	送信	一九
第二節	受信	二〇
第四章	故障及其修正法	二二
第五章	手入及保存	二四

持續電波式送受信練習機甲取扱法目次 終

持續電波式送受信練習機甲取扱法

總說

第一 持續電波式送受信練習機甲ハ講堂ニ於テ無線電信ノ各種通信法ヲ演練スルニ用フルモノトス

第二 持續電波式送受信練習機甲ノ波長範圍ハ送信ニ於テ三〇〇乃至二、八〇〇米、受信ニ於テ二八〇乃至三、〇〇〇米ニシテ通達距離一〇乃至一五米トス

第一部 構造

第三 持續電波式送受信練習機甲ハ通信機、電源、棒型空中線及附屬品ヨリ成ル(第一圖)

## 第一章 通信機

第四 通信機ハ送信装置及受信装置ヨリ成ル

第五 送信装置ハ受信装置ト一體ヲ成シ之ヲ通信機箱(上面ヲ開閉シ得)ニ收容シ木螺子六箇ヲ以テ其上面ヲ通信機箱ノ内側ニ設クル受木ニ螺定ス

送受信装置ノ上面ハ「エボナイト」板ヲ以テ調整盤ヲ成形シ調整装置、轉換器、接續端子及計器ヲ取付ク

點檢修理等ニ際シ送受信装置ヲ箱ヨリ取出スニハ箱ノ上蓋ヲ開キ調整

盤ノ木螺子ヲ抜キ且真空管盤トノ接續ヲ離脱シ調整盤ニ取付クル調整装置及轉換器ノ把子ヲ摘ミ引上クルモノトス

### 第一節 送信装置

第六 送信装置ハ電磁—靜電交感ニ依ル真空管式ニシテ左ノ回路ヲ有シ其接續要領第二圖ノ如シ

一 空中線回路 (1)(2)(3)(4)(5)(6)(7)(1)

二 陽板回路 (P)(7)(1)(2)(3)(F)(P)

三 格子回路 (G)(4)(F)(G)

四 心線回路 (F)(8)(9)(F)

第七 送信装置ヲ構成スル部品ノ主ナルモノ左ノ如シ(第二圖)

- 一 電 鍵 (2)
- 二 送 信 捲 線 (4)(7)
- 三 送 信 蓄 電 器 (5)(5')
- 四 空 中 線 電 流 計 (6)
- 五 心 線 抵 抗 (9)
- 六 送 信 真 空 管 (10)

第八 電 鍵

調整盤ニ取付ケ陽鈹回路ヲ斷續シ符號ノ送信ニ用フルモノトス

第九 送 信 捲 線

送信格子捲線(4)及送信陽鈹捲線(7)ヨリ成リ空中線回路(閉回路)ノ構成並陽鈹及格子兩回路ノ交感ニ供ス

送信格子捲線及送信陽鈹捲線ハ何レモ(大)及(小)ノ二部ヨリ成リ夫々兩者兼用ノ「エボナイト」製大型及小型圓筒卷棒ニ纏卷シアリ調整盤ニ取付クル送信波長轉換器(甲)ニ依リ適宜其(大)若ハ(小)ヲ空中線回路ニ入レ且調整盤ニ取付クル送信波長轉換器(乙)ニ依リ送信格子捲線(小)ノ全部若ハ一部ヲ空中線回路ニ入ルルモノトス

第十 送 信 蓄 電 器

「アルミニウム」製半圓兩極鈹ヲ交互ニ組合セタル可變蓄電器(5)及固定蓄電器(5')ヨリ成リ送信捲線ト共ニ空中線回路(閉回路)ヲ構成シ且同回路ノ波長ヲ調整シ兼テ陽鈹及格子兩回路ノ交感度ヲ加減スルニ用フ其法調整盤ニ取付クル送信波長轉換器(甲)ニ依リ適宜(5)ヲ空中線回路ニ入レ且調整盤ニ取付クル送信蓄電器把子ヲ回轉シ波長ヲ連續的ニ變



更セシムルモノトス

第十一 空中線電流計

○乃至三〇〇「ミリアマムペア」ノ目盛ヲ有スル熱線電流計ニシテ調整盤ニ取付ケ空中線電流ヲ表示スルモノトス

第十二 心線抵抗

調整盤ニ取付クル心線抵抗變更器ニ依リ心線電流ヲ加減セシムルモノトス

第十三 送信真空管

一號真空管ニシテ其一箇ヲ専用シ送信装置ノ後方ニ設クル真空管盤ノ真空管栓孔ニ装置ス

第十四 通信機ノ調整盤ニ取付クル送信調整並接続用部品左ノ如シ

(第一圖)

一 送受信轉換器

二 送信波長轉換器(甲)及同(乙)

三 送信蓄電器把子

四 心線抵抗變更器(送受信兼用)

五 空中線端子(送受信兼用)

六 八〇「ヴォルト」(「陽鈹」)接続端子

七 六「ヴォルト」(「心線」)接続端子

八 可熔線端子及八〇「ヴォルト」回路用可熔線

九 真空管盤接続端子

### 第二節 受信装置

第十五 受信装置ハ真空管一箇ヲ用ヒ檢波及「ヘテロヂン」作用ヲ營マシムルモノニシテ左ノ回路ヲ有シ其接續要領第三圖ノ如シ

- 一 空中線回路 (I)(II)(12)(1)
- 二 陽 鈹 回路 (P)(13)(14)(15)(F)(P)
- 三 格 子 回路 (G)(16)(11)(I)(F)(G)及(G)(16)(12)(F)(G)
- 四 心 線 回路 (F)(17)(9)(F)

第十六 受信装置ヲ構成スル部品ノ主ナルモノ左ノ如シ(第三圖)

- 一 受 信 捲 線 (11)(13)
- 二 受 信 蓄 電 器 (12)

- 三 聽 音 器 變 壓 器 (14)
- 四 受 信 格 子 抵 抗 及 同 蓄 電 器 (16)
- 五 心 線 抵 抗 (9)
- 六 受 信 真 空 管 (18)

### 第十七 受信捲線

「エボナイト」製圓筒卷枠ニ纏卷セル固定捲線(H)ト其卷枠内ニ在ル回轉捲線(13)トヨリ成リ前者ハ受信格子捲線後者ハ受信陽鈹捲線ニシテ陽鈹及格子兩回路ノ交感ニ供ス調整盤ニ取付クル受信波長轉換器ニ依リ受信格子捲線ノ全部若ハ一部ヲ使用シ且調整盤ニ取付クル受信交感把子ニ依リ陽鈹及格子兩回路ノ交感度ヲ連續的ニ變更セシムルコトヲ得

第十八 受信蓄電器

「アルミニウム」製半圓兩極板ヲ交互ニ組合セタル可變蓄電器ニシテ受信捲線ト共ニ空中線回路(閉回路)ヲ構成シ且同回路ノ波長ヲ調整スルニ用フ其法調整盤ニ取付クル受信蓄電器把子ヲ回轉シ波長ヲ連續的ニ變更セシムルモノトス

第十九 聽音器變壓器

聽音器内ニ直流ノ通スルヲ防キ且聽音器ニ對スル電壓ヲ適當ナラシムルモノトス

第二十 受信格子抵抗及同蓄電器

心線ニ對シ格子電壓ヲ適當ニ保チ受信真空管ヲシテ檢波作用ヲ行ハシムルモノトス

第二十一 心線抵抗

送受信兼用ニシテ調整盤ニ取付クル心線抵抗變更器ニ依リ心線電流ヲ加減スルモノトス

第二十二 受信真空管

送信用ト同種ノモノ一箇ヲ用ヒ受信裝置ノ後方ニ設クル真空管盤ノ真空管栓孔ニ裝置ス

第二十三 通信機ノ調整盤ニ備フル受信調整並接續用部品(送受信兼用ノモノヲ除ク)左ノ如シ(第一圖)

- 一 受信波長轉換器
- 二 受信交感把子
- 三 受信蓄電器把子

- 四 聽音器栓孔
  - 五 真空管盤接續端子
  - 六 聽音器補助接續端子
- 必要ノ際異式聽音器ヲ接續スルニ用フ

### 第一章 電源

第二十四 電源ハ六「ヴォルト」蓄電池及四〇「ヴォルト」蓄電池ヨリ成  
 リ之ヲ送信及受信ニ共用ス  
 但シ充電設備ノ關係上四〇「ヴォルト」蓄電池ヲ用ヒ難キ場合ニ在リテ  
 ハ八〇「ヴォルト」乾電池ヲ使用スルヲ可トス  
 其他要スレハ電源トシテ十五年式二乃至四號無線電信機ノモノヲ代用

スルコトヲ得

- 第二十五 六「ヴォルト」蓄電池  
 容量四〇「アムペア」時ナル鉛蓄電池ニシテ送信及受信ノ際真空管ノ心  
 線點火用トシテ其一箇ヲ使用ス
- 第二十六 四〇「ヴォルト」蓄電池  
 容量三「アムペア」時ナル鉛蓄電池ニシテ其二箇ヲ直列ニ繋キ送信及受  
 信ノ際真空管ノ陽板加壓用ニ供ス
- 第二十七 八〇「ヴォルト」乾電池
- 四〇「ヴォルト」蓄電池ニ代用スルモノニシテ正角五號型四八箇ヨリ成  
 リ其一六箇宛ヲ直列ニ繋キテ三組ト成シ之ヲ八〇「ヴォルト」乾電池箱  
 ニ收容ス而シテ箱ニ附スル開閉器ニ依リ更ニ三組ヲ直列ニ接續シテ使

用シ或ハ又必要ニ應シ各組毎ニ使用スルモノトス

### 第二章 棒型空中線

第二十八 棒型空中線ハ邊長五八〇耗ナル方形棒ニ二重絹被覆銅撚線九回ヲ纏卷セルモノニシテ取付軸ノ周圍ニ自由ニ回轉セシムルコトヲ得轉換器ヲ備へ之ニ依リ適宜捲線ノ全部又ハ一部ヲ使用ス

### 第四章 附屬品

第二十九 附屬品ハ聽音器及接續紐トス

第三十 聽音器

兩耳式ニシテ片耳ノ抵抗二、〇〇〇「オーム」ナリ受信ノ際其接續紐先

端ノ接續栓ヲ調整盤ノ聽音器栓孔ニ挿入シ使用スルモノトス  
要スレハ十五年式二乃至五號無線電信機ノ聽音器ヲ以テ代用スルコトヲ得

第三十一 接續紐

電池接續紐ハ電源ト通信機トヲ接續スルニ用フ一端ニ八〇「ヴォルト」  
「+」極、八〇「ヴォルト」「-」極兼六「ヴォルト」「+」極並六「ヴォルト」  
「-」極三箇ノ接續金物ヲ附シ他端ニ八〇「ヴォルト」「+」及「-」極、六  
「ヴォルト」「+」及「-」極四箇ノ接續金物ヲ附ス

空中線接續紐ハ棒型空中線ト通信機トヲ接續スルニ用フ長サ五〇〇耗  
ナル編組及革被覆線ニシテ兩端ニ夫々二箇ノ接續金物ヲ附ス

### 第五章 定數及主要諸元

第三十二 持續電波式送受信練習機甲ノ品目、員數及其收容區分附表第一ノ如シ

第三十三 持續電波式送受信練習機甲主要部ノ寸度及重量附表第二ノ如シ

第三十四 持續電波式送受信練習機甲各部ノ電氣的諸元附表第三ノ如シ

## 第二部 取扱法

### 第一章 配置

第三十五 持續電波式送受信練習機甲ヲ使用スルニ方リ其配置ニ於テ注意スヘキ條件左ノ如シ

- 一 波長—波長差標準曲線(第四圖)ノ示ス波長差ニ依リ同時ニ數組ノ對向通信ヲ實施スル爲ニハ隣接兩機ヲシテ概ネ一米五〇〇以内ニ接近セシメサルコト
- 二 對向兩所ノ枠型空中線カ平行スル場合受信感度極大ニシテ直交スル場合極小ナリ故ニ此送受信ノ方向性ヲ利用シ要スレハ數通信

網同時ニ存在スル場合ノ混信分離ニ遺憾ナカラシムルコト

### 第二章 接 續

第三十六 概ネ次ノ順序ニ枠型空中線、電源及聽音器ヲ通信機ニ接續スヘシ

一 空中線接續紐ノ一端ヲ通信機ノ空中線端子ニ接續シ他端ヲ枠型空中線ノ接續端子ニ接續ス

二 電池接續紐ノ三極端ヲ通信機ノ「陽板」「心線」及「+」「-」ノ標記ヲ一致セシメ接續ス

三 電池接續紐ノ四極端ヲ六「ヴォルト」蓄電池及八〇「ヴォルト」蓄電池(四〇「ヴォルト」蓄電池二箇ヲ直列ニ接續セルモノ)ノ各兩端

子ニ「+」「-」ノ標記ヲ一致セシメ接續ス

四 聽音器接續紐先端ノ接續栓ヲ通信機ノ調整盤ニ設クル聽音器栓孔ニ挿入ス

### 第二章 調 整

#### 第一節 送 信

第三十七 送信調整ノ方法ヲ順序ニ述フレハ左ノ如シ

一 送受信轉換器ヲ「送」ノ位置ニ移ス

二 送信空中線回路ノ波長曲線(第五圖)ニ依リ送信波長轉換器、空中線轉換器及送信蓄電器把子ヲ所望ノ波長ニ應スル位置ニ置ク

- 三 心線抵抗變更器ヲ調整シテ真空管ノ心線ヲ略、白熱程度ニ點火ス
- 四 電鍵ヲ壓下シテ空中線電流發生ノ有無ヲ檢ス此場合空中線電流計ノ指針少シク變位セハ可ナリ
- 五 送信中ハ常ニ空中線電流計ニ注意シアルヘシ
- 六 送信終了後ハ心線抵抗變更器ニ依リ心線電流ヲ滅シ送受信轉換器ヲ「斷」若ハ「受」ノ位置ニ移ス

### 第二節 受信

第三十八 受信調整ノ方法ヲ順序ニ述フレハ左ノ如シ

- 一 送受信轉換器ヲ「受」ノ位置ニ移ス
- 二 受信空中線回路波長曲線(第六圖)ニ依リ受信波長轉換器ヲ「長」又ハ「短」ニ置キ且波長三五〇米以下ノ場合ニ在リテハ特ニ梓型空中線ノ轉換器ヲ「小」ノ位置ニ移シ受信蓄電器把子ノ指針ヲ受信波長ニ合セシム
- 三 心線抵抗變更器ヲ調整シテ真空管ノ心線ヲ送信ノ場合ヨリ稍、暗キ程度ニ點火ス
- 四 受信交感把子ヲ回轉シ「ヘテロヂン」作用ヲ起サシメツツ受信蓄電器把子ヲ緩徐ニ其附近ニ於テ回ハシ受信音ヲ搜出ス  
「ヘテロヂン」ノ作用ハ受信交感把子ヲ零度ヨリ一八〇度ノ方向ニ回轉スル場合聽音器ニ反響音ヲ聞ク時ヨリ發生スルモノニシテ交感度ヲ其位置ニ保ツ時受信音最大ナリ



五 受信音ヲ搜出セハ受信交感把子ヲ回轉シテ交感度ヲ成ル可ク疎  
ニシ受信蓄電器把子ヲ回轉シテ最大音ヲ求ム

## 第四章 故障及其修正法

### 第三十九 通信機

故障ニ際シテハ接續圖(第二、第三及第七圖)ト對照シテ接續ノ誤リ及  
接點ノ弛緩セル箇所ナキヤヲ點檢シ所要ノ修正ヲ施スヘシ  
接點中點檢スヘキ主ナル箇所左ノ如シ

各轉換器ノ接觸部

真空管脚部ノ接觸部

電池及空中線ト通信機トノ接續部

可變蓄電器ノ回轉軸ト發條トノ接觸部

枠型空中線ノ枠ト取付軸トノ接觸部

枠型空中線ノ枠ト取付軸トノ接觸部ハ左ノ要領ニ依リ點檢スヘシ  
送受信轉換器ヲ送信ノ位置ニ置キ電鍵ヲ壓下シ電流計指針ノ動否ヲ檢  
シ次ニ之ヲ受信ノ位置ニ置キ枠ヲ回轉ス此時聽音器ニ雜音ヲ聞カサレ  
ハ可ナリ

### 第四十 電池

電池ノ故障ハ接續線及接點ノ不良、電液ノ不足若ハ不良並蓄電池放電  
ノ極度ニ達シアル等ニ基因スルモノナルヲ以テ使用ノ際接點ヲ研磨シ  
接續ヲ完全ニシ電液ノ不足セルモノヲ補ヒ不良液ハ之ヲ交換シ放電ノ  
極度(蓄電池一箇ノ電壓ハ一・八「ヴォルト」以上ナルヲ要ス)ニ達セル

モノハ直ニ交換シ充電スヘシ

### 第五章 手入及保存

第四十一 通信機ノ手入及保存ニ關シテハ特ニ左ノ諸件ニ注意スヘシ

- 一 濕氣及塵埃ノ附著ヲ豫防シ要スレハ日光若ハ炭火等ヲ以テ徐々ニ乾燥シ刷毛等ヲ以テ塵埃ヲ除去スヘシ
- 二 接續線ノ斷線及接點離脫ノ有無ヲ檢シ要スレハ盤陀著ケヲナシ剝脫セル被覆部ヲ完全ニ被覆シ置クヘシ

第四十二 電池ノ手入及保存ニ關シテハ特ニ左ノ諸件ニ注意スヘシ

- 一 蓄電池ハ過度ノ放電ヲ戒メ且放電後ハ成ル可ク速ニ充電スルコト

ト

- 二 電液ノ比重ヲ一・二乃至一・二一五ニ保タシムルコト
- 三 短絡ヲ絶對ニ防止シ且金屬、酸類等ヲ接近セシメサルコト
- 四 使用中及格納間ヲ論セス日光ノ直射ニ曝露スルヲ防キ且格納ニ方リテハ空氣ノ流通良好ナル室ヲ選定スルコト

## 持續電波式送受信練習機甲取扱法終

附表第一

持續電波式送受信練習機甲收容區分表

品	目	員數	摘	要	通		樁	品	容	內
					信	機				
八〇	「ヴ オルト」 蓄電池 (正角五號型乾電池四八箇)	一	四〇	「ヴ オルト」 蓄電池ヲ 使用スル 場合ニハ 不要	二	二	一	二	一	一
四〇	「ヴ オルト」 蓄電池	四			二	二	一	二	一	一
六	「ヴ オルト」 蓄電池	二			二	二	一	二	一	一
四〇	「ヴ オルト」 蓄電池	四			二	二	一	二	一	一
八〇	「ヴ オルト」 蓄電池 (正角五號型乾電池四八箇)	一	四〇	「ヴ オルト」 蓄電池ヲ 使用スル 場合ニハ 不要	二	二	一	二	一	一

一組  
聽音器一、電池接續組一、空中線接續組一、  
波長表入一、補助聽音器接續栓一、

附表第二

寸 度 重 量 表

品 目	寸 度			重 量 (瓦)
	高サ(耗)	幅(耗)	厚サ(耗)	
通 信 機	一八五	四一〇	三八九	九・六〇〇
六「ヴォルト」蓄電池 (一箇)	二〇九	一三三	三二五	一四・一〇〇
四〇「ヴォルト」蓄電池 (一箇)	二〇九	一三三	三四五	一〇・六〇〇
八〇「ヴォルト」乾電池 (一箇)	一三四	四〇九	二五一	一三・一〇〇
梓 型 空 中 線	梓型一 線全長 五九二			四・五〇〇

Table with faint text and grid lines, likely a continuation of technical specifications or a secondary table. The text is mostly illegible due to fading.

十刻重量表

品目	差	刻			重量
		高々(辨)	脚(辨)	項々(辨)	
八〇(〇)	一八五	二〇六	二〇六	一三二	四・五〇〇
四〇(〇)	四一〇	一三三	一三三	二五二	一三・一〇〇
六(〇)	三八六	三二五	三二五	一〇・六〇〇	一〇・六〇〇

附表第三

銀元對換表

品名	單位	重量	價值
銀元	枚	...	...
...	...	...	...
...	...	...	...
...	...	...	...

持續電波式送受信練習機甲電氣的諸元表

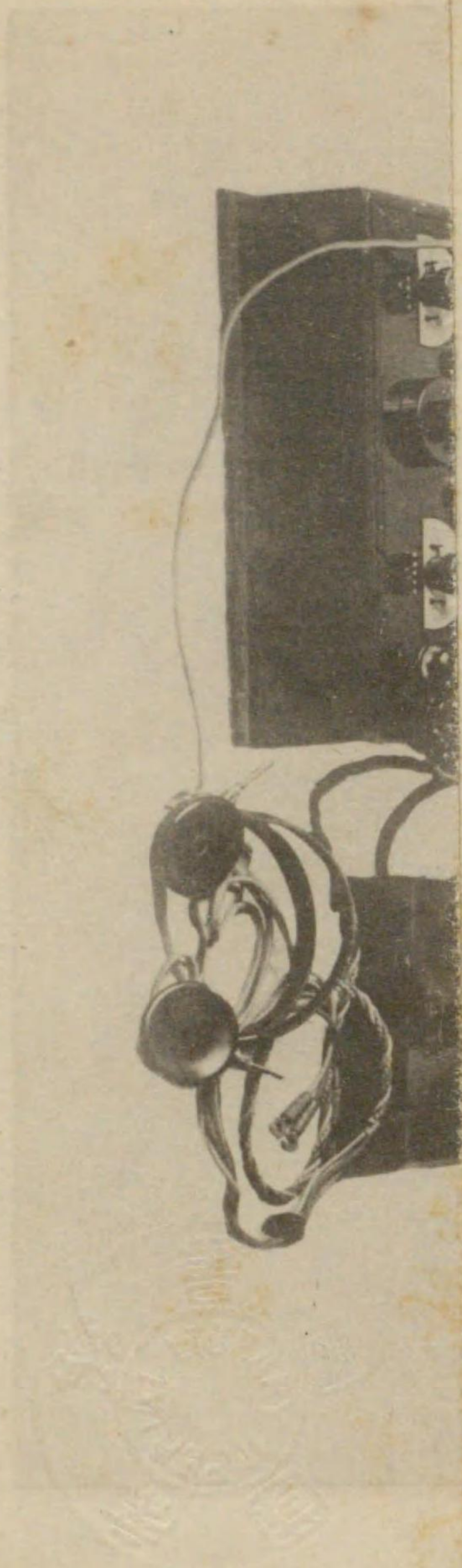
蓄電器			抵抗		
名稱	部品番號	電氣容量	名稱	部品番號	抵抗値
受信蓄電池	(12)	80—1600c.m	心線抵抗 (可變)	(9)	4.5「オーム」
送信蓄電器 (可變)	(5)	同上	同上 (固定)		1「オーム」
同上 (固定)	(5')	80c.m	受信格子抵抗	(16)	3「メガオーム」
受信格子蓄電器	(16)	150c.m			

電池	名稱	極壓 「ヴォルト」	容量 (10時間放電率) 「アマペア」時	放電々流	充電々流
	6「ヴォルト」蓄電池	6	40	4—7.5「アマペア」	5.5—11「アマペア」
	40「ヴォルト」蓄電池	40	3	300—560「ミリアムペア」	150—900「ミリアムペア」

附表第三

品名	部	品番	電氣容量	抵抗値
受信蓄電池	(12)		80—1600c.m	4.5「オーム」
送信蓄電器 (可變)	(5)		同上	1「オーム」
同上 (固定)	(5')		80c.m	3「メガオーム」
受信格子蓄電器	(16)		150c.m	

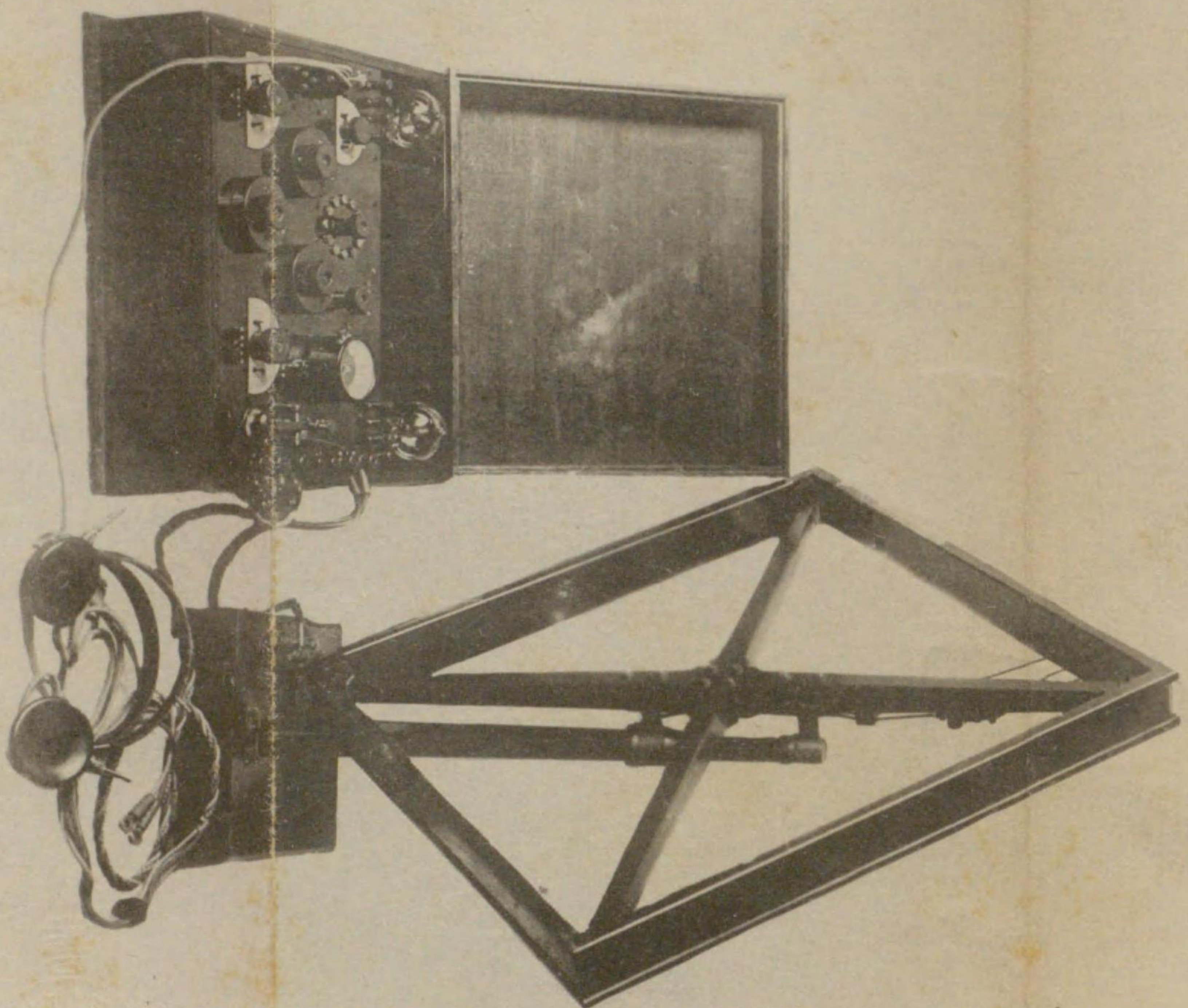


相去三

共天福和康康甲對特業局

號	名	姓	年
[A-1234]	張	德	...
[A-1235]	李	明	...
[A-1236]	王	德	...
[A-1237]	趙	德	...
[A-1238]	...	...	...
[A-1239]	...	...	...
[A-1240]	...	...	...

特續電波式送受信練習機甲



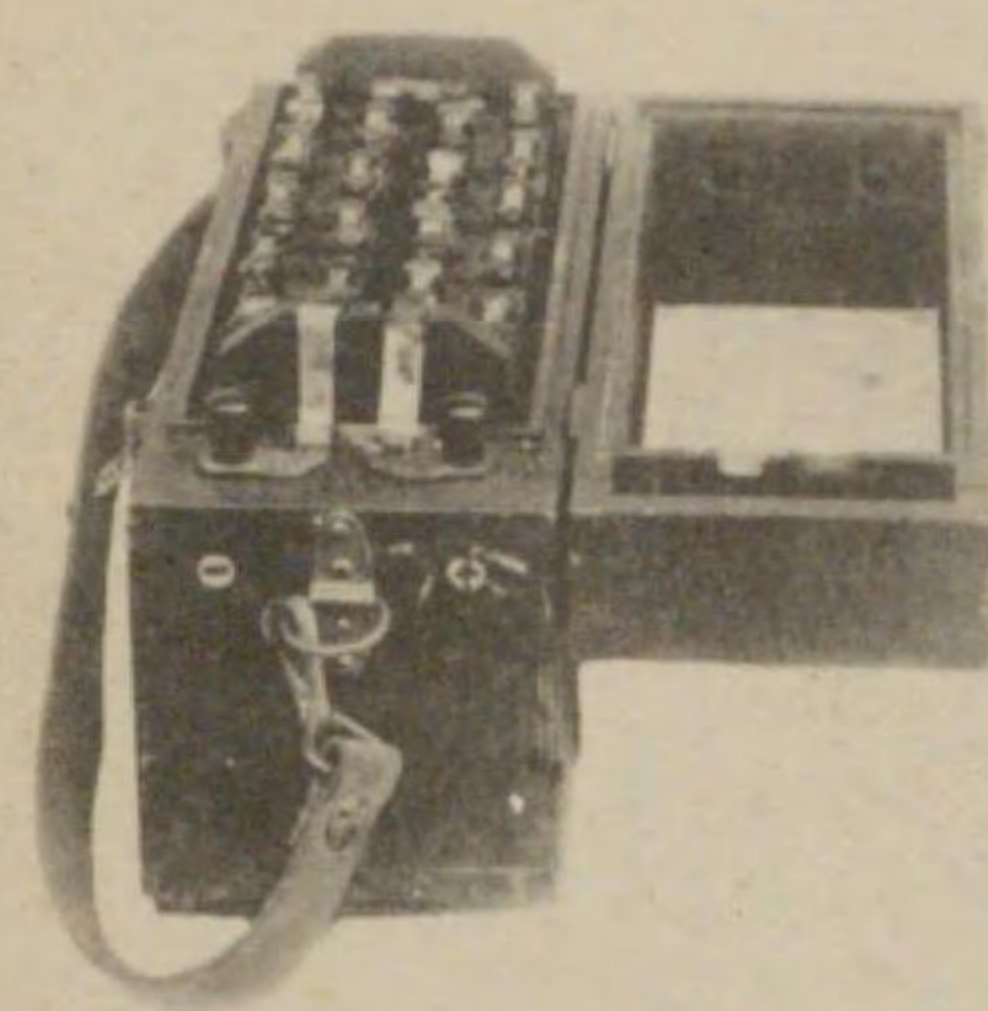
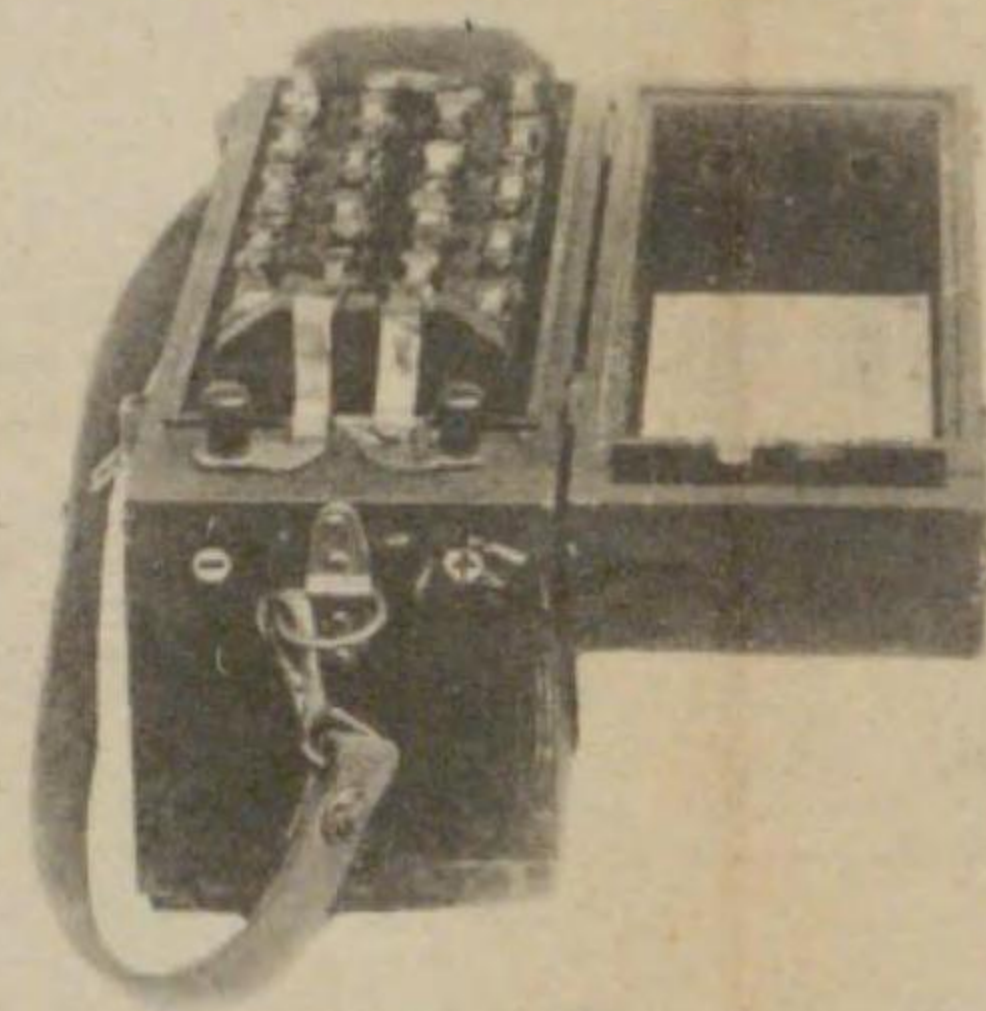
第一圖



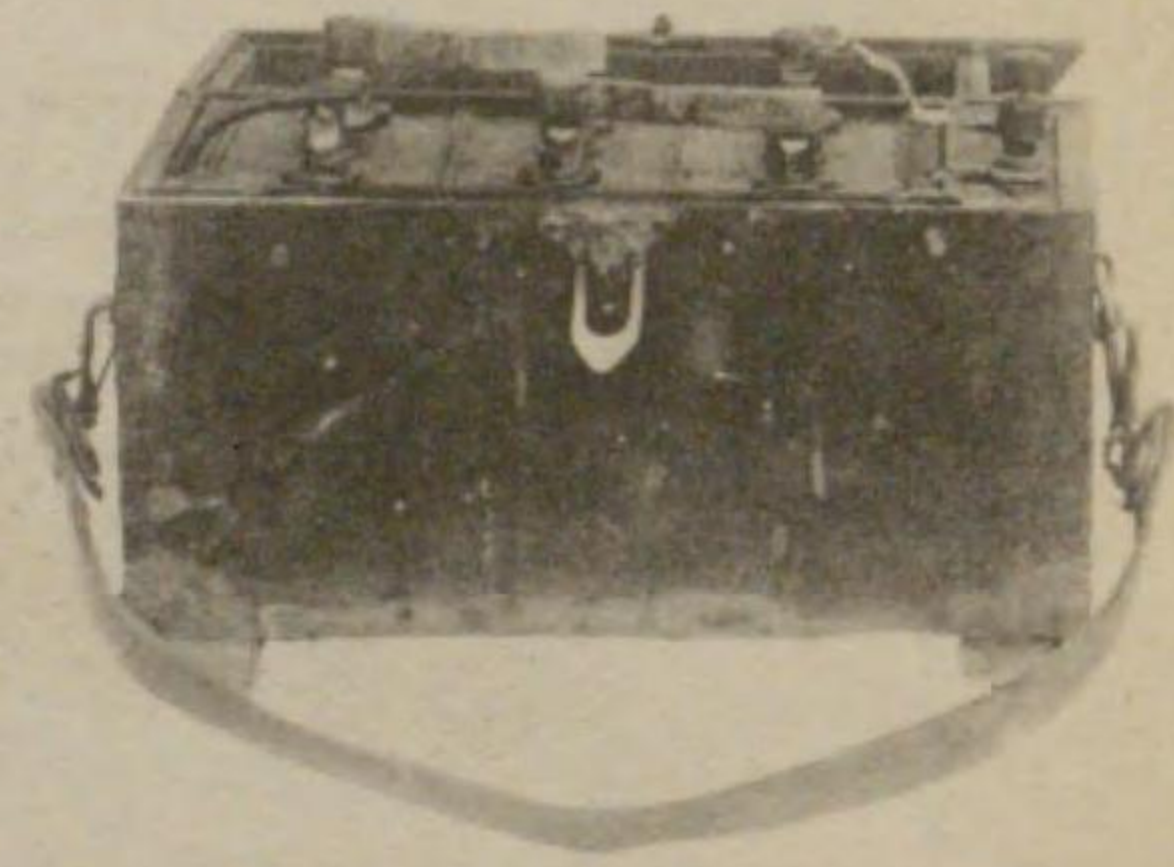
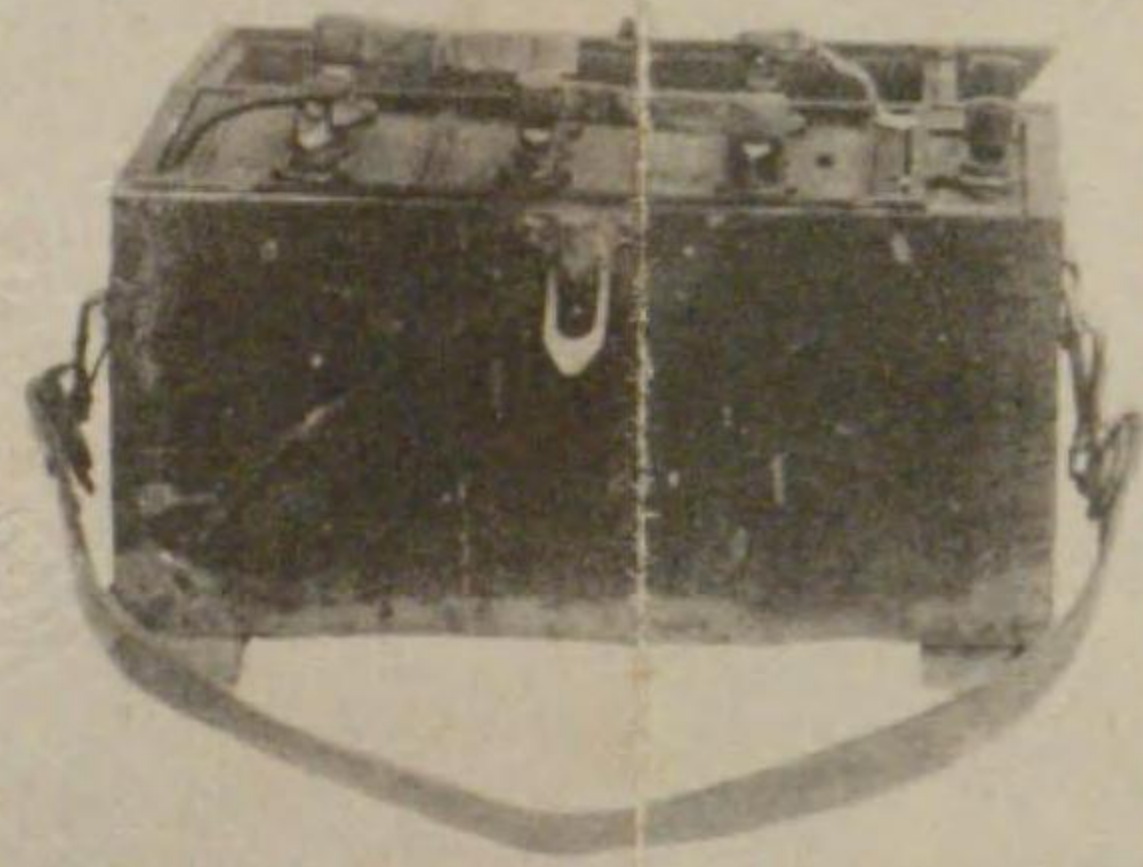
第



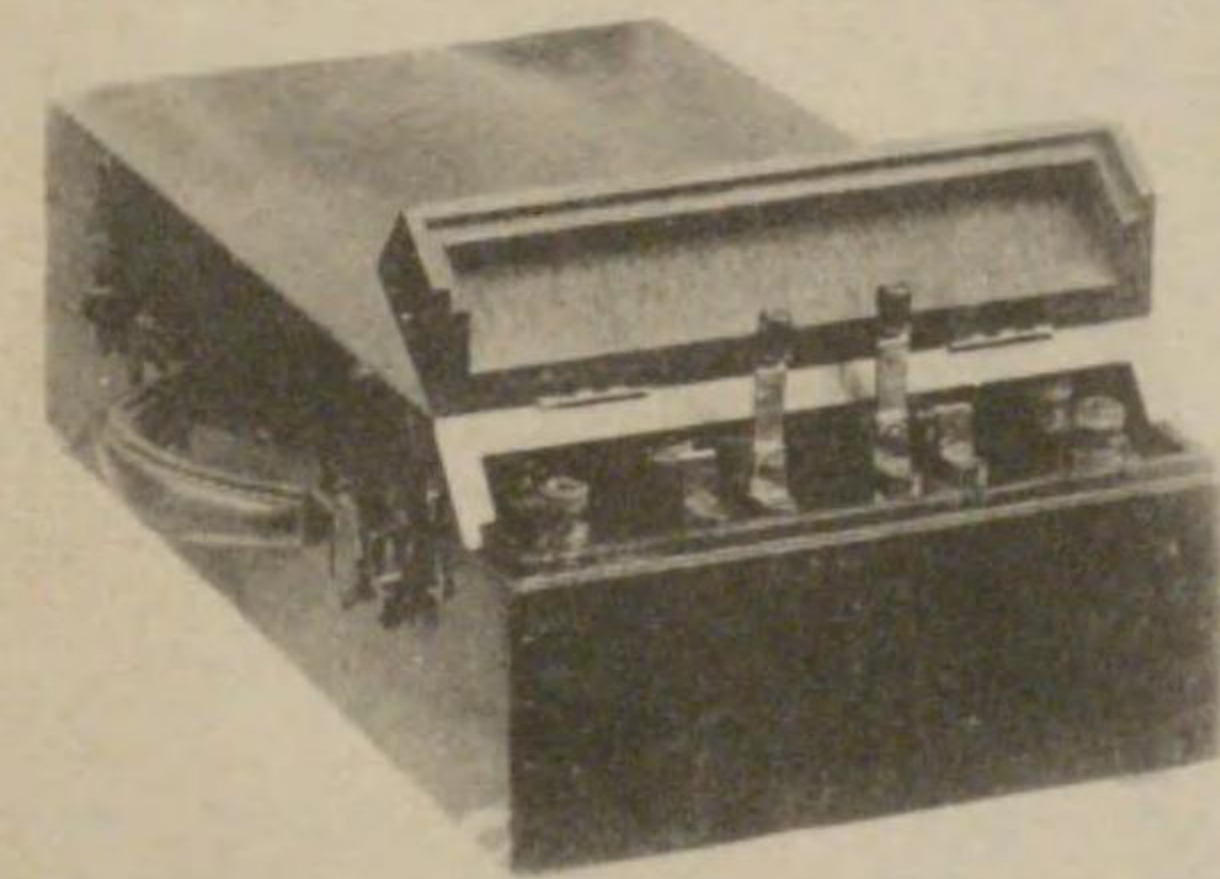
四〇七トロボ蓄電池



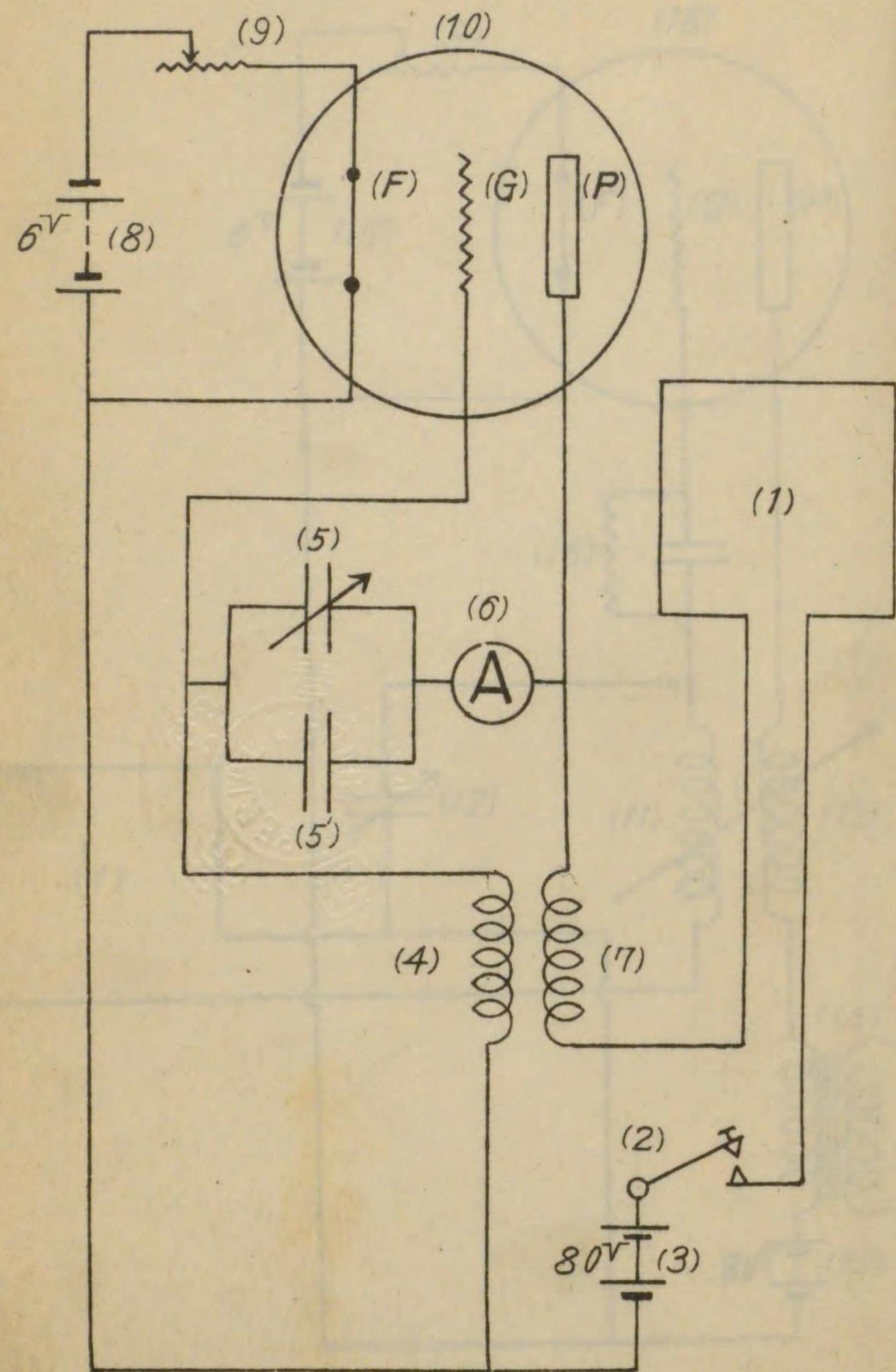
六〇七トロボ蓄電池



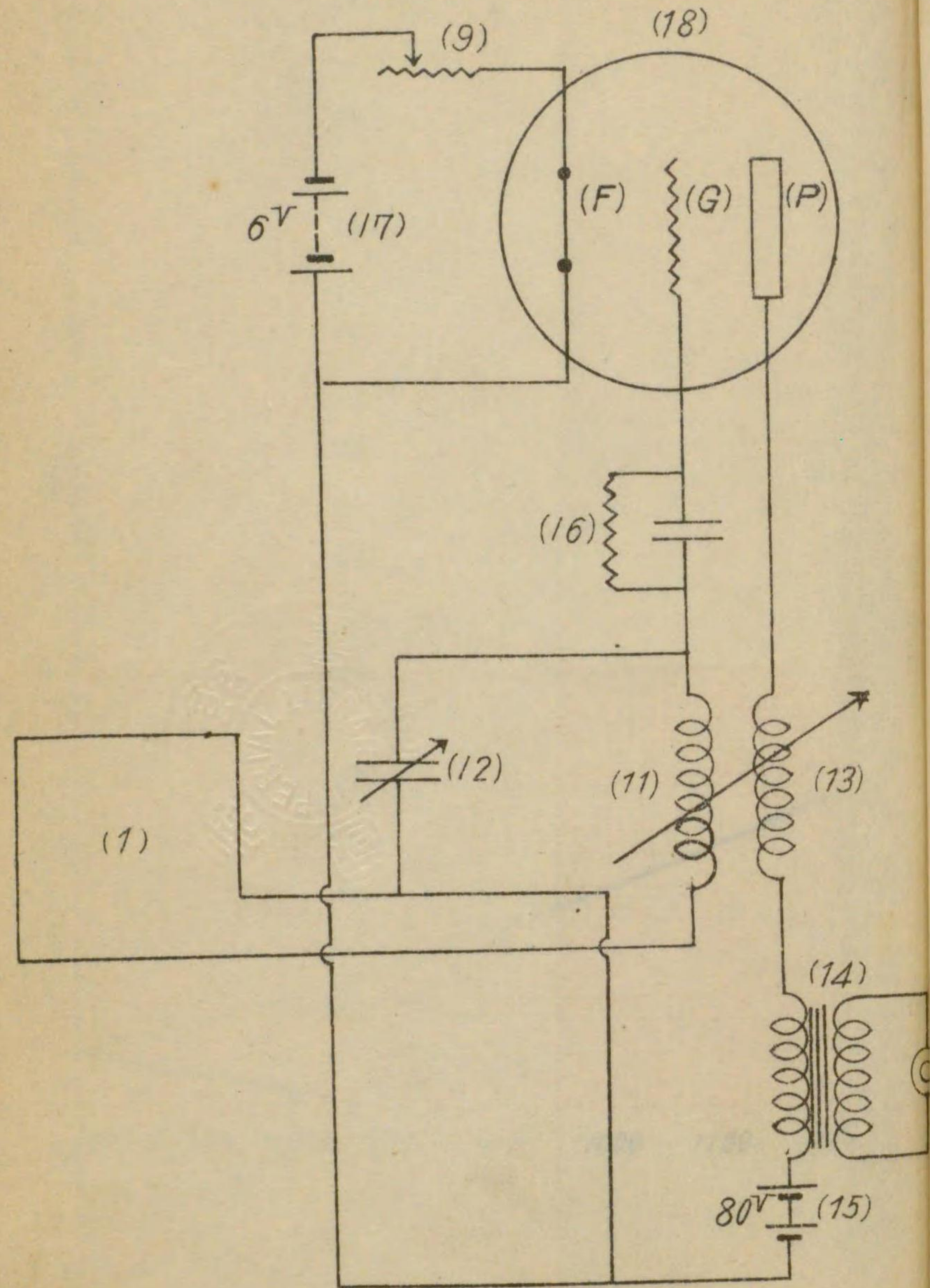
八〇七トロボ乾電池



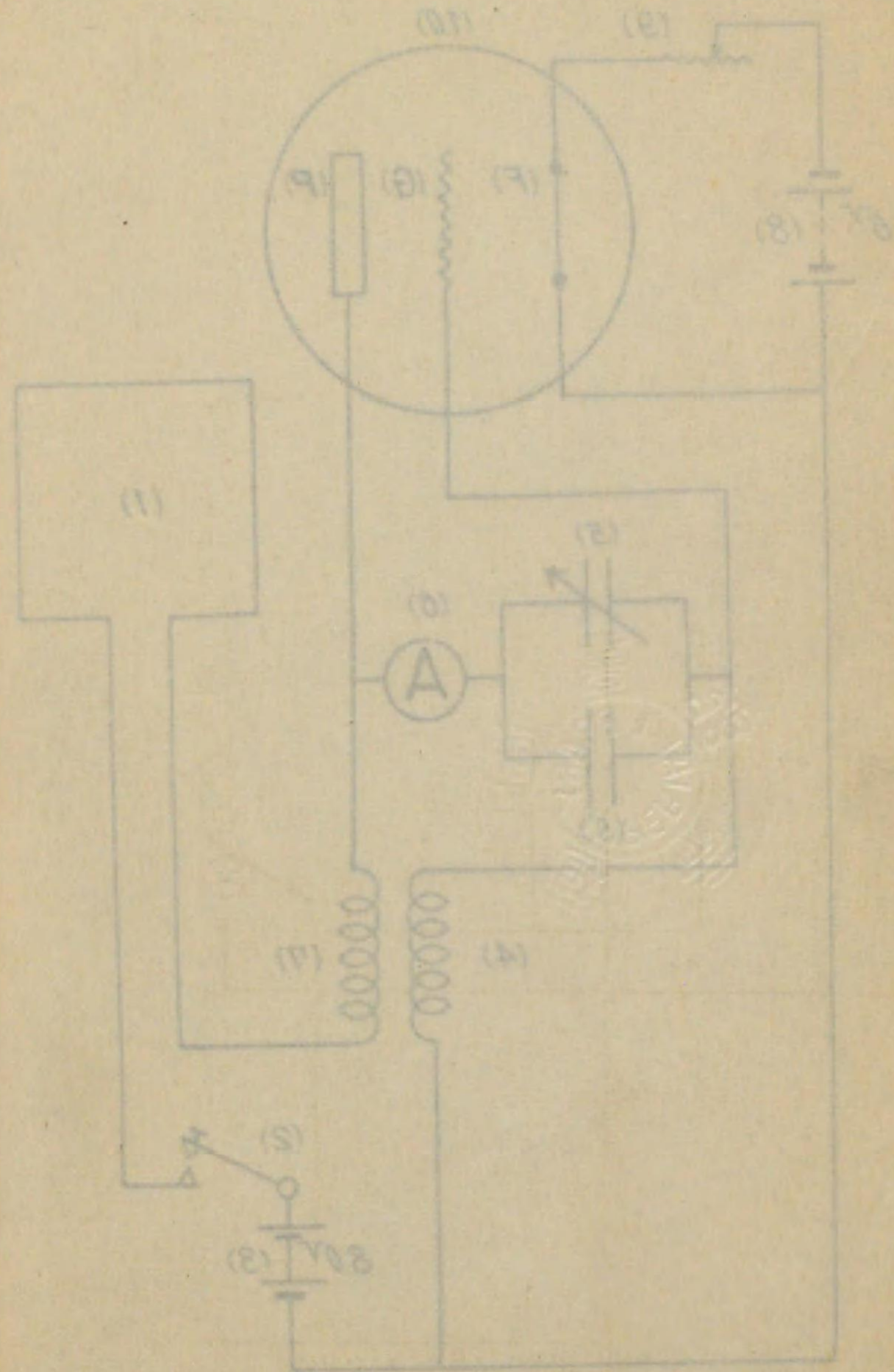
圖二第  
圖領要續接置裝信送



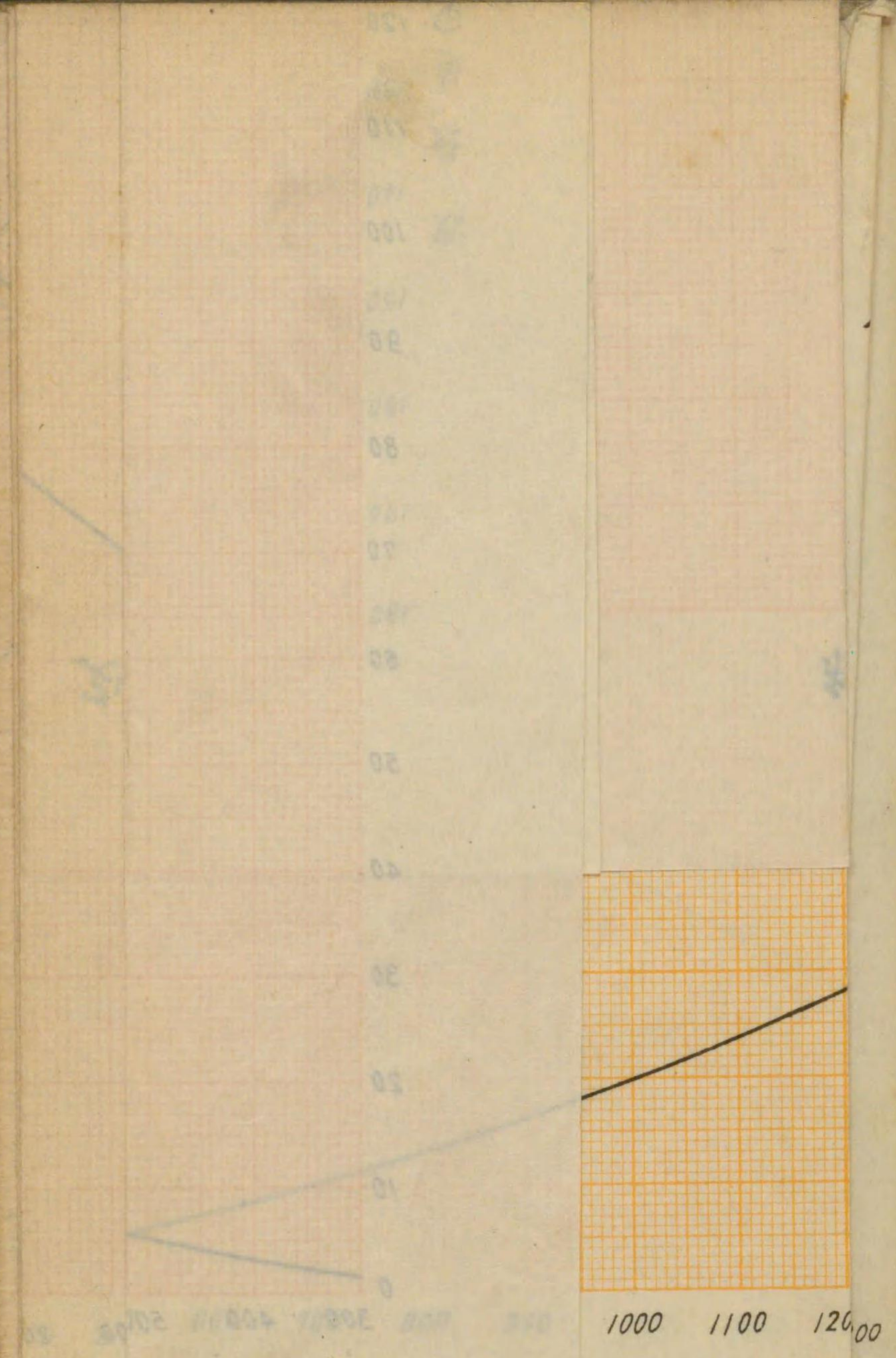
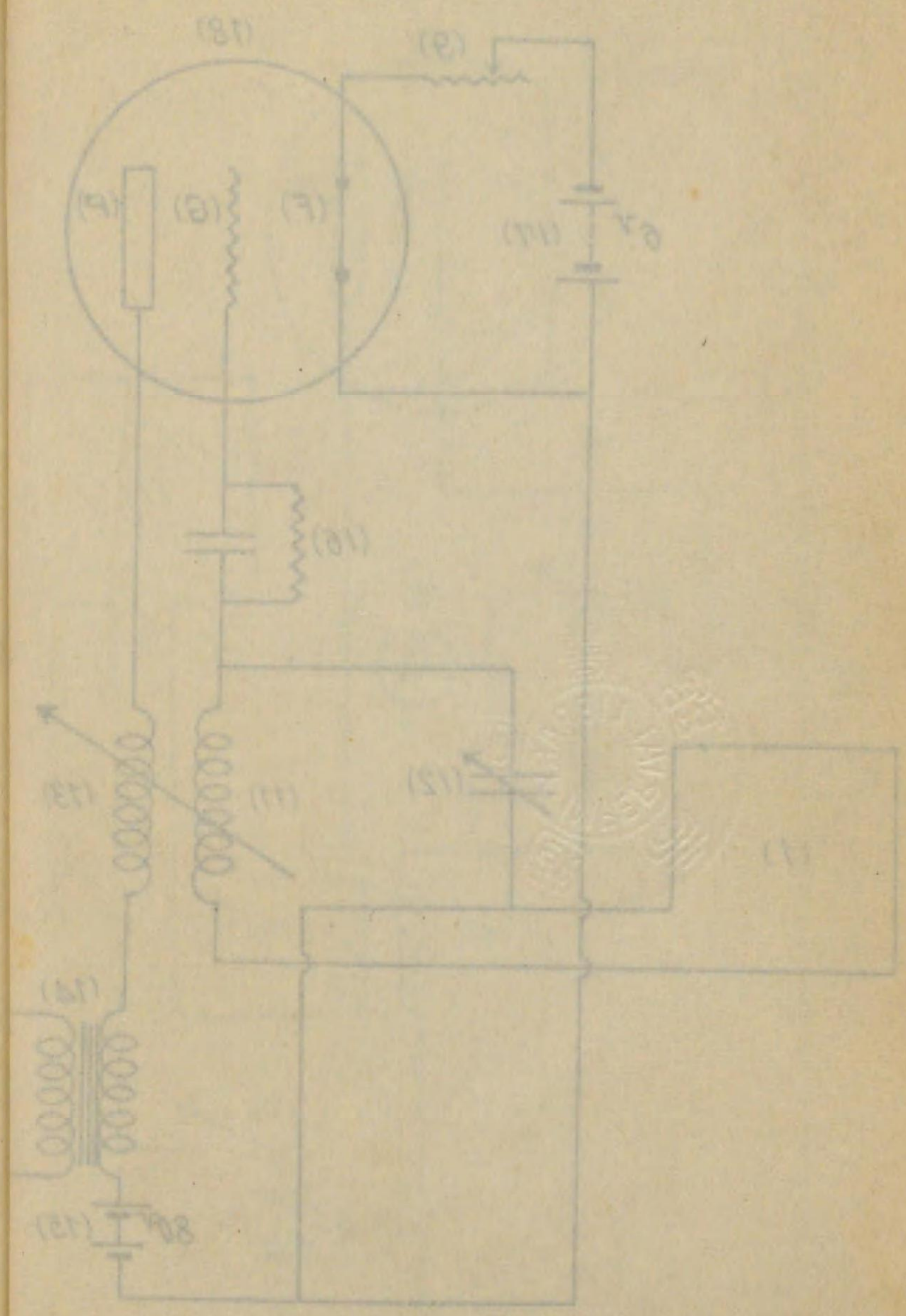
圖三第  
圖領要續接置裝信受



圖二第  
圖領要續接置裝發

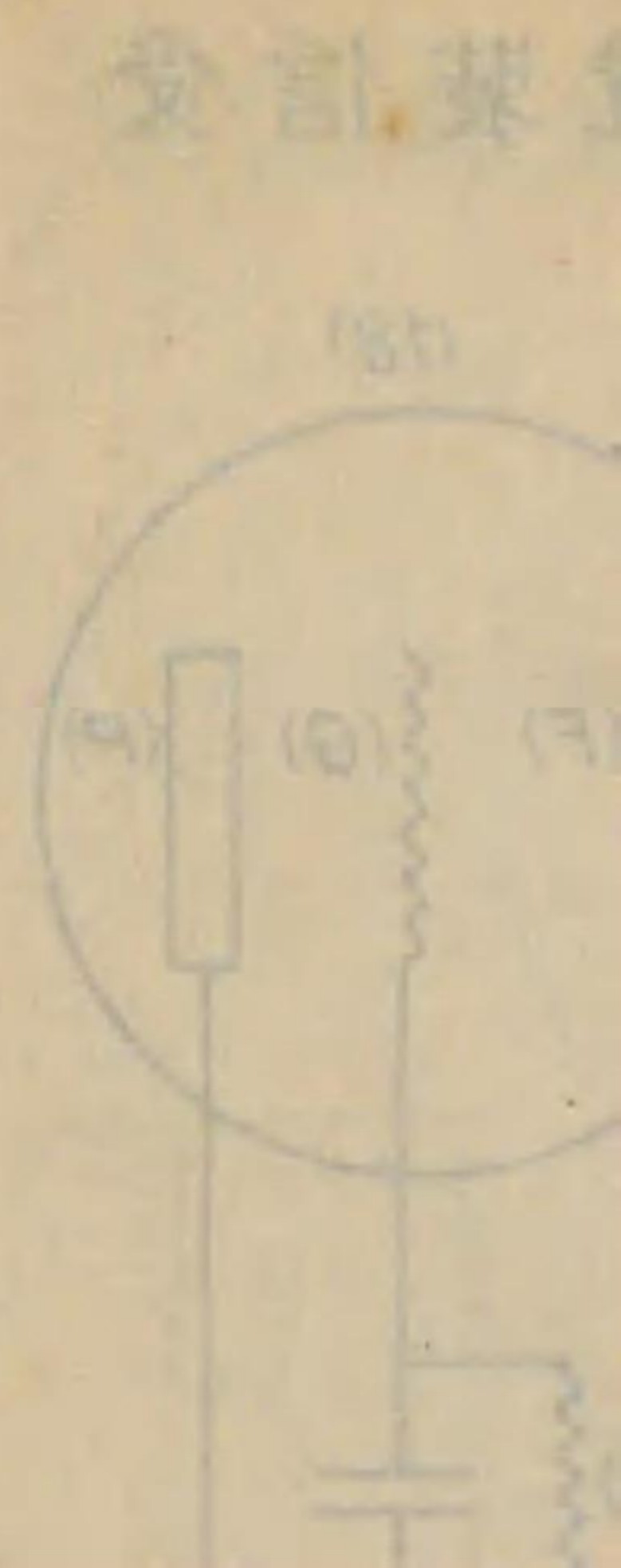
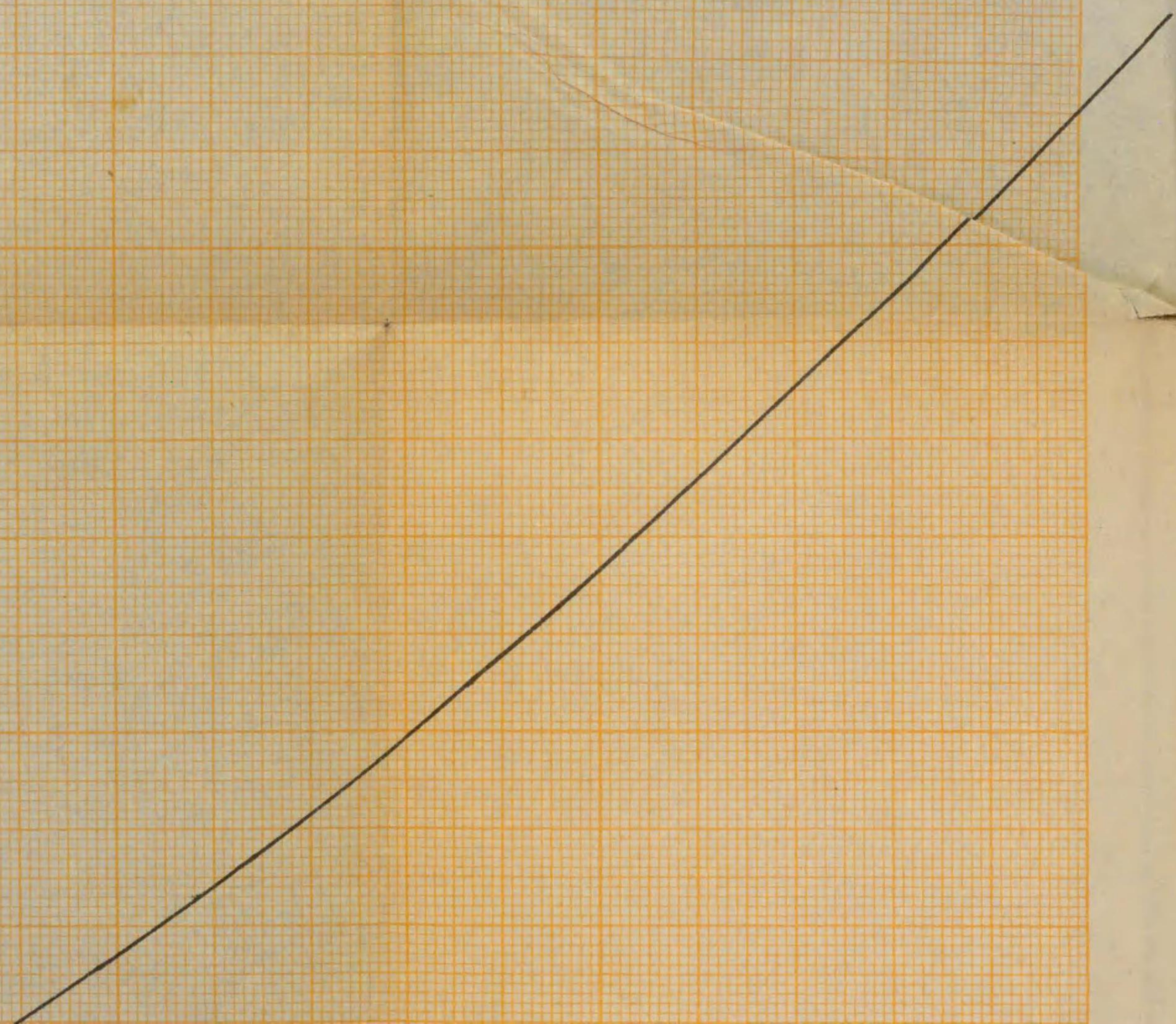


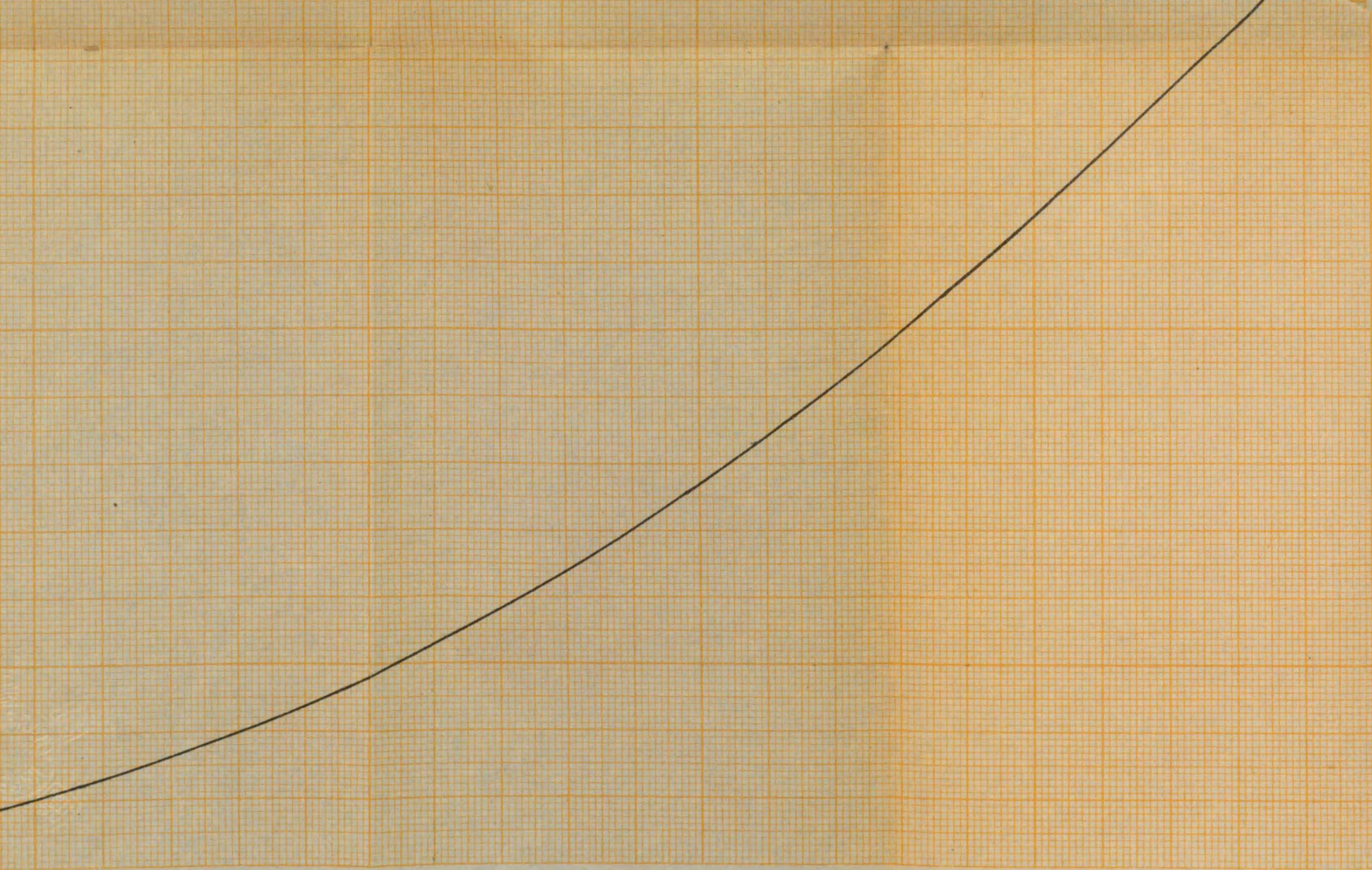
第三圖  
圖解裝置要圖



線曲準標差長波一長波

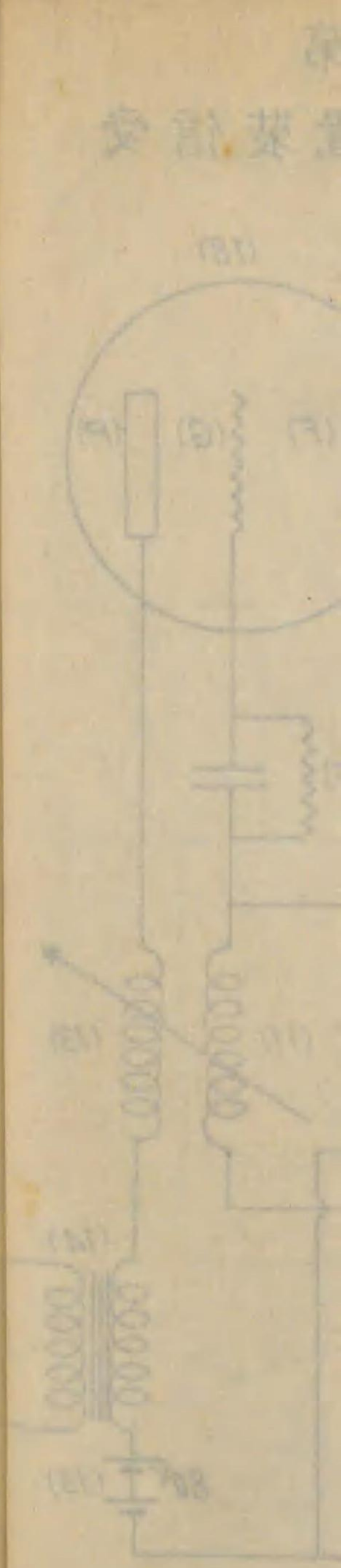
第四圖





700 800 900 1000 1100 1200 1300 1400 1500 1600 1700 1800 1900 2000 2100 2200 2300 2400 2500 2600 2700 2800

(米) 長波



# 波長一長波差標準曲線

波長差(米)

180  
170  
160  
150  
140  
130  
120  
110  
100  
90  
80  
70  
60  
50



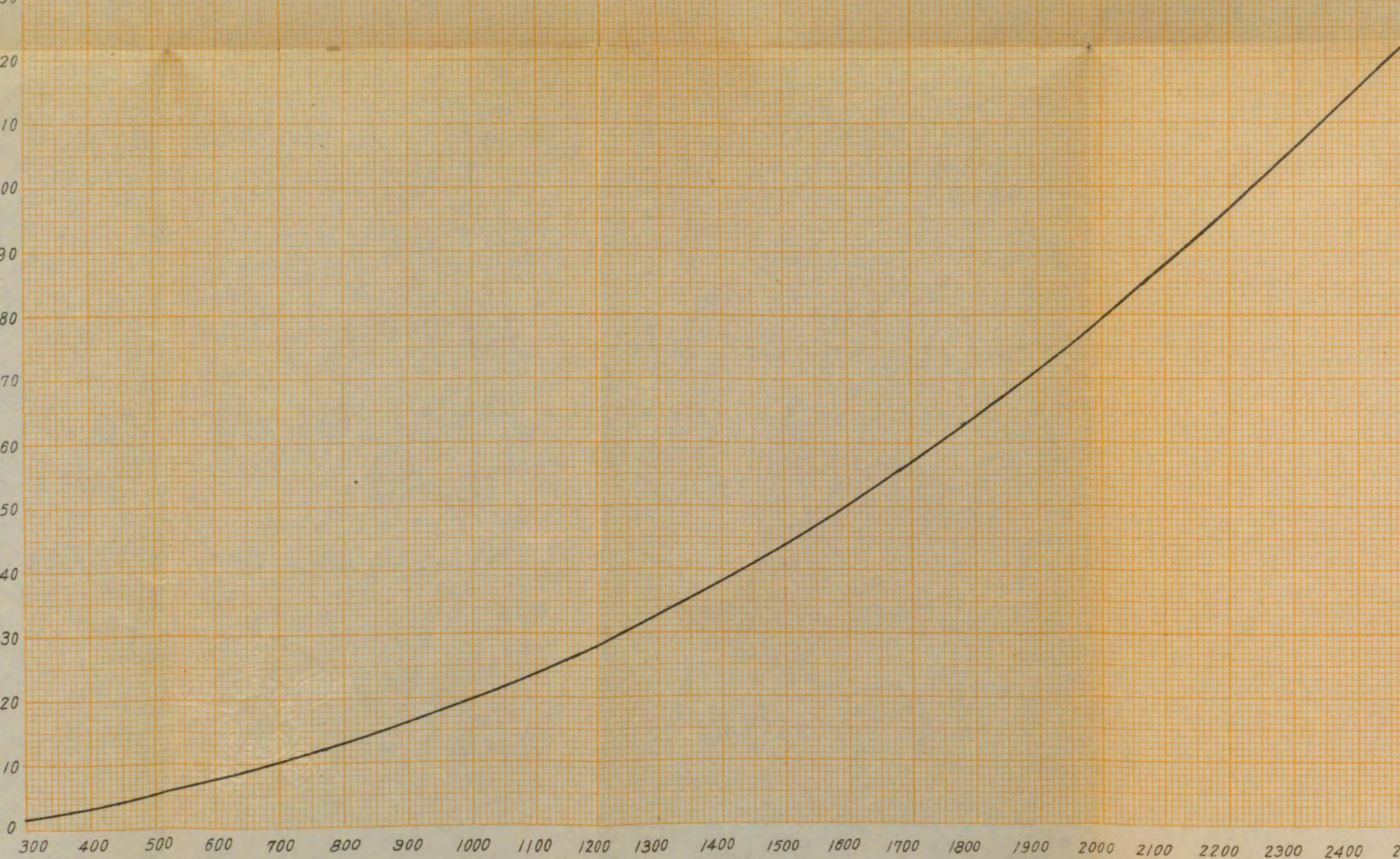


差  
(米)

150  
120  
110  
100  
90  
80  
70  
60  
50  
40  
30  
20  
10  
0

300 400 500 600 700 800 900 1000 1100 1200 1300 1400 1500 1600 1700 1800 1900 2000 2100 2200 2300 2400 2500

(米) 長 波



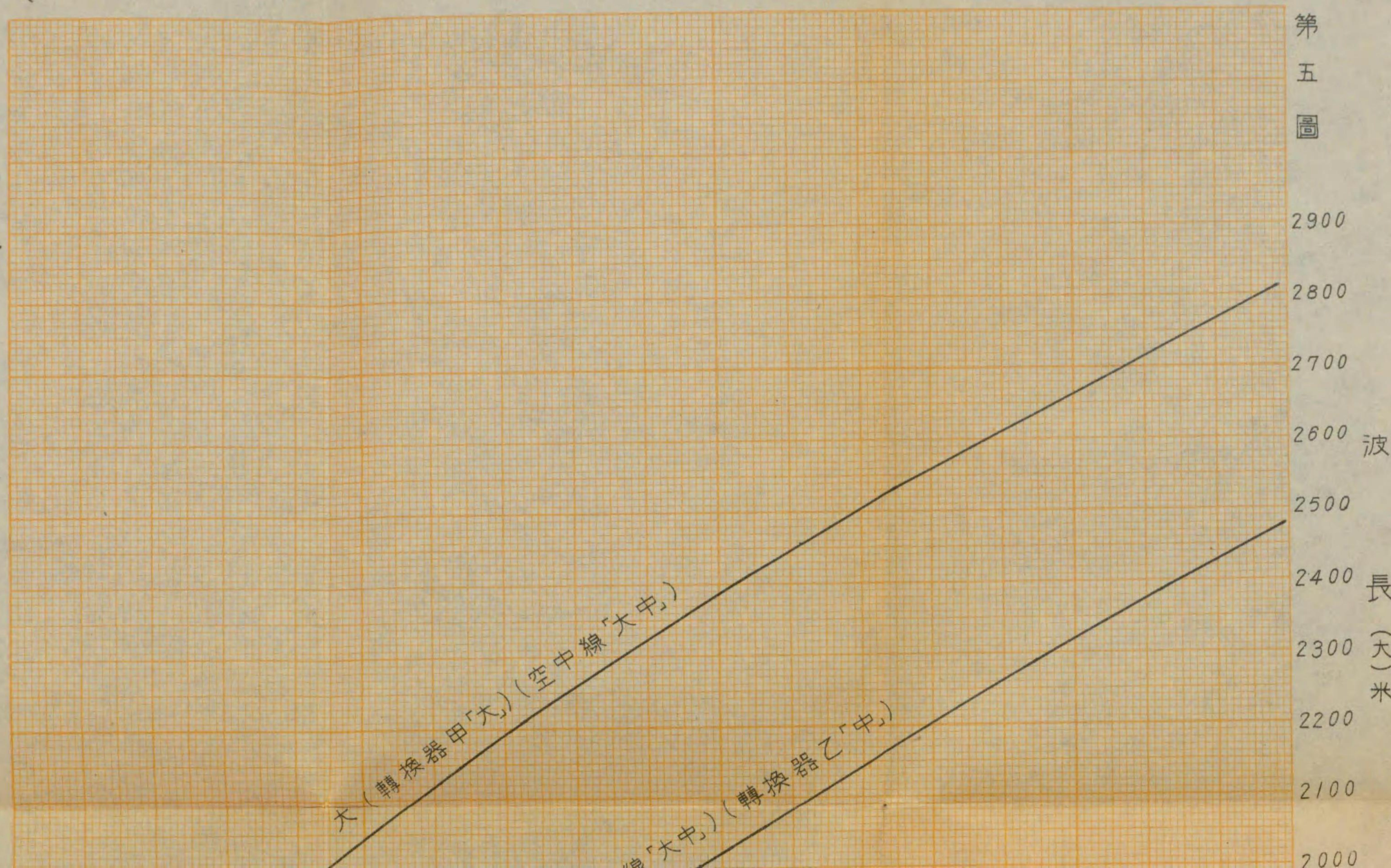


# 線曲長波路回線中空信送

第五圖

波長  
(中及小) 米

波長  
(大) 米



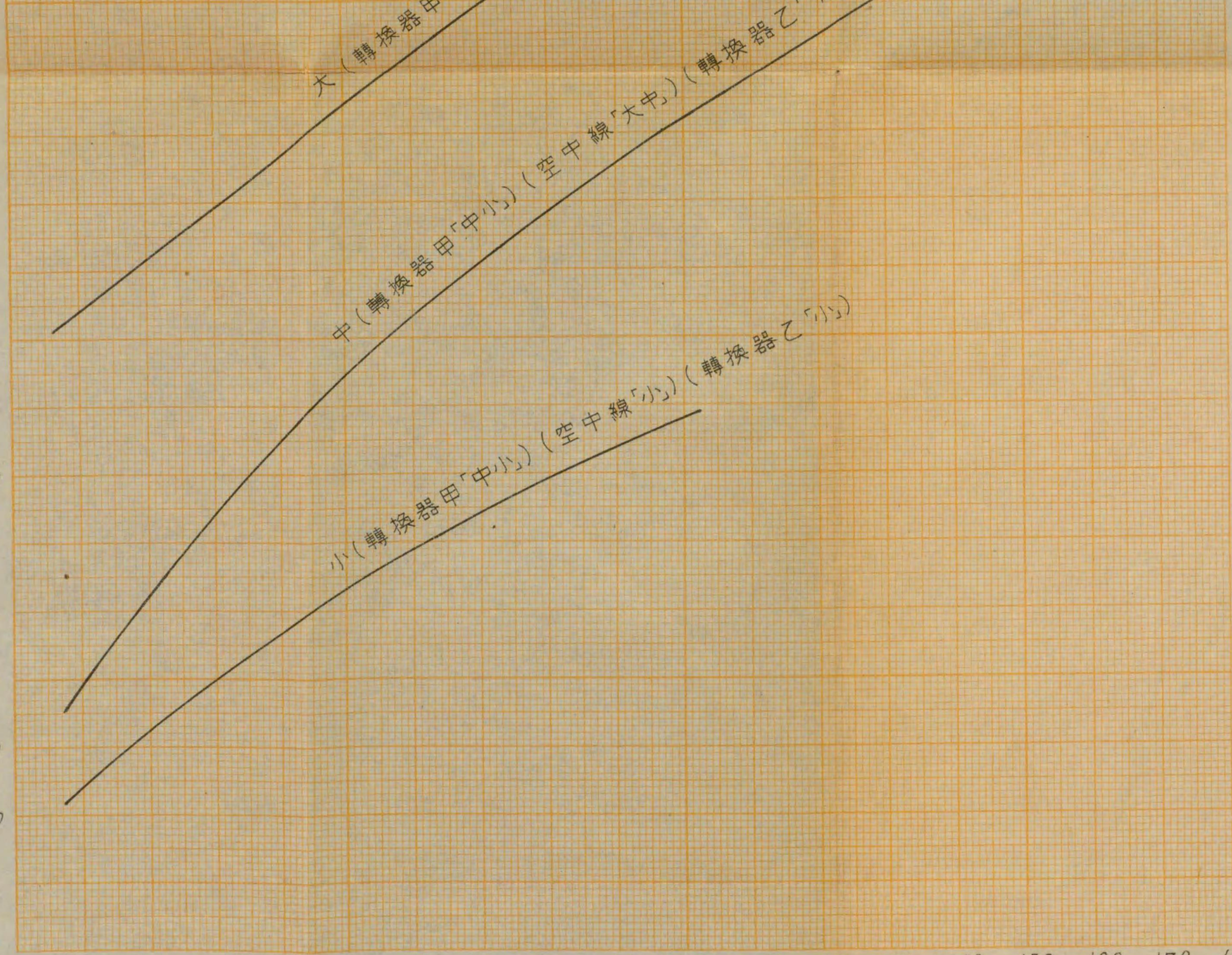
大 (轉換器甲「大」) (空中線「大中」)

大 (轉換器乙「中」) (空中線「大中」)

米

1500  
1400  
1300  
1200  
1100  
1000  
900  
800  
700  
600  
500  
400  
300

2100  
2000  
1900  
1800  
1700



蓄電器目盛

1000  
800

新

1100  
700

1500  
600

1300  
500

400

300

0 10 20 30 40

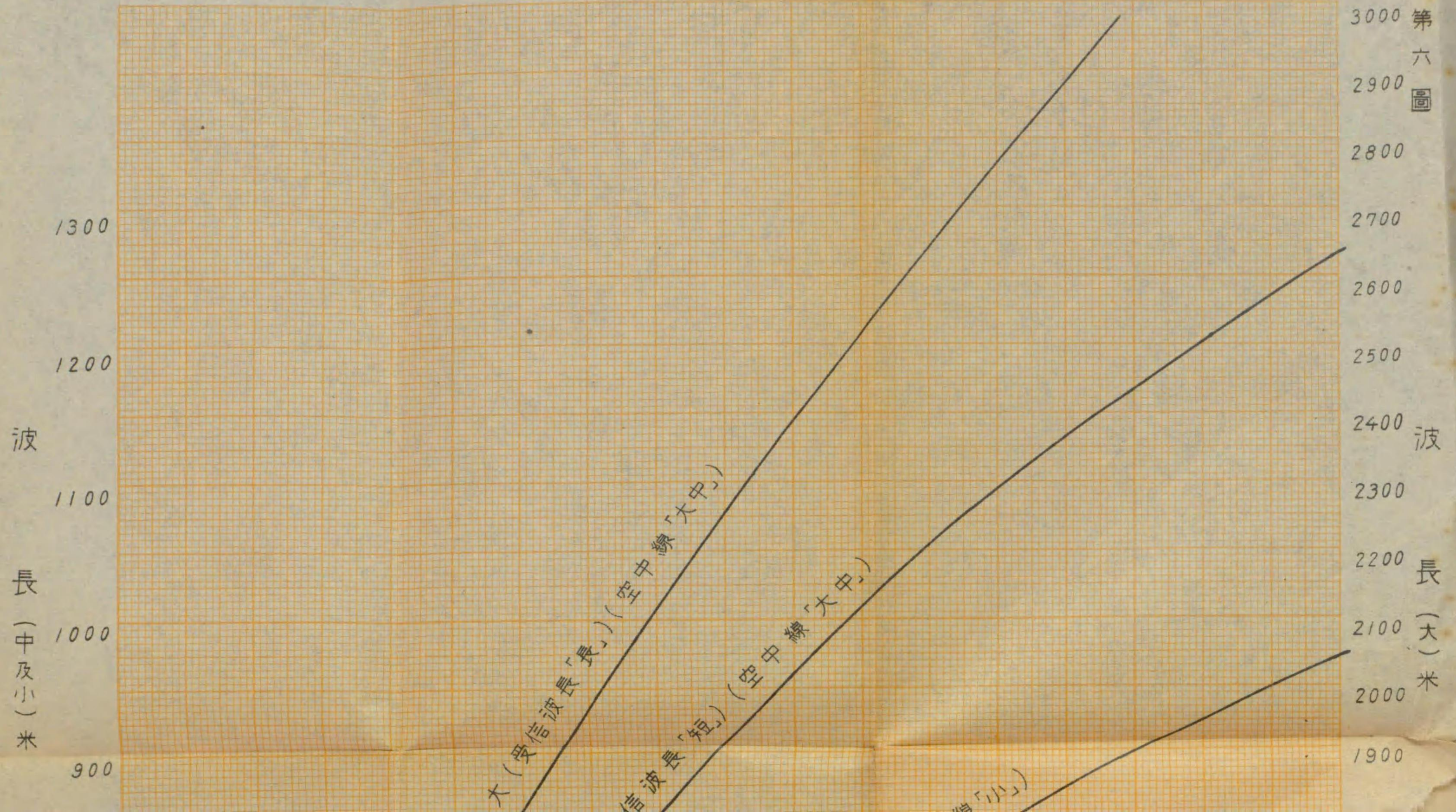
1000  
800  
600  
500  
400  
300  
200  
100  
0

1000  
800  
600  
500  
400  
300  
200  
100  
0

1800  
1600  
1400  
1200  
1000  
800  
600  
400  
200  
0

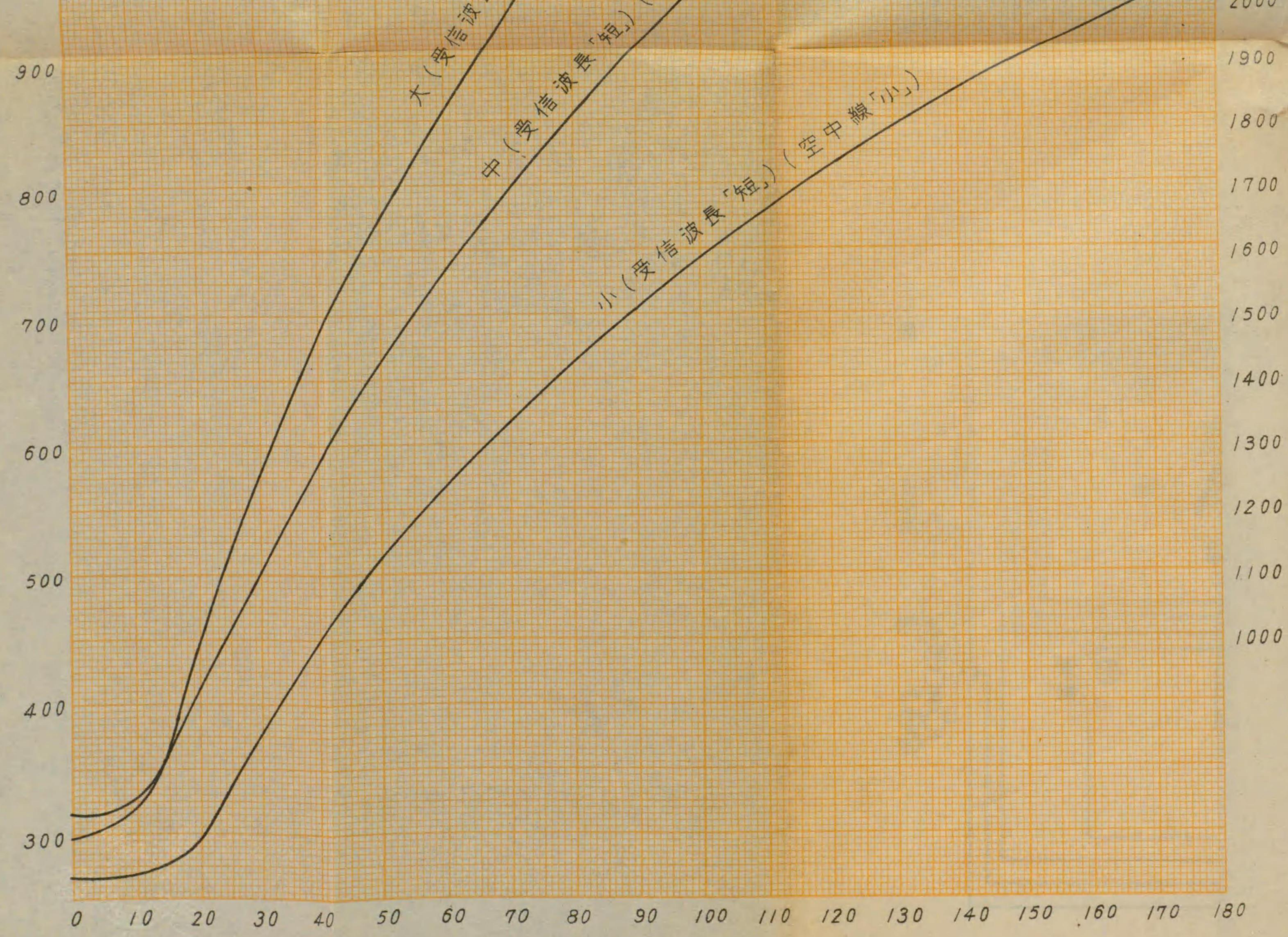
100 120 140 160 180

# 線曲長波路回線中空信受

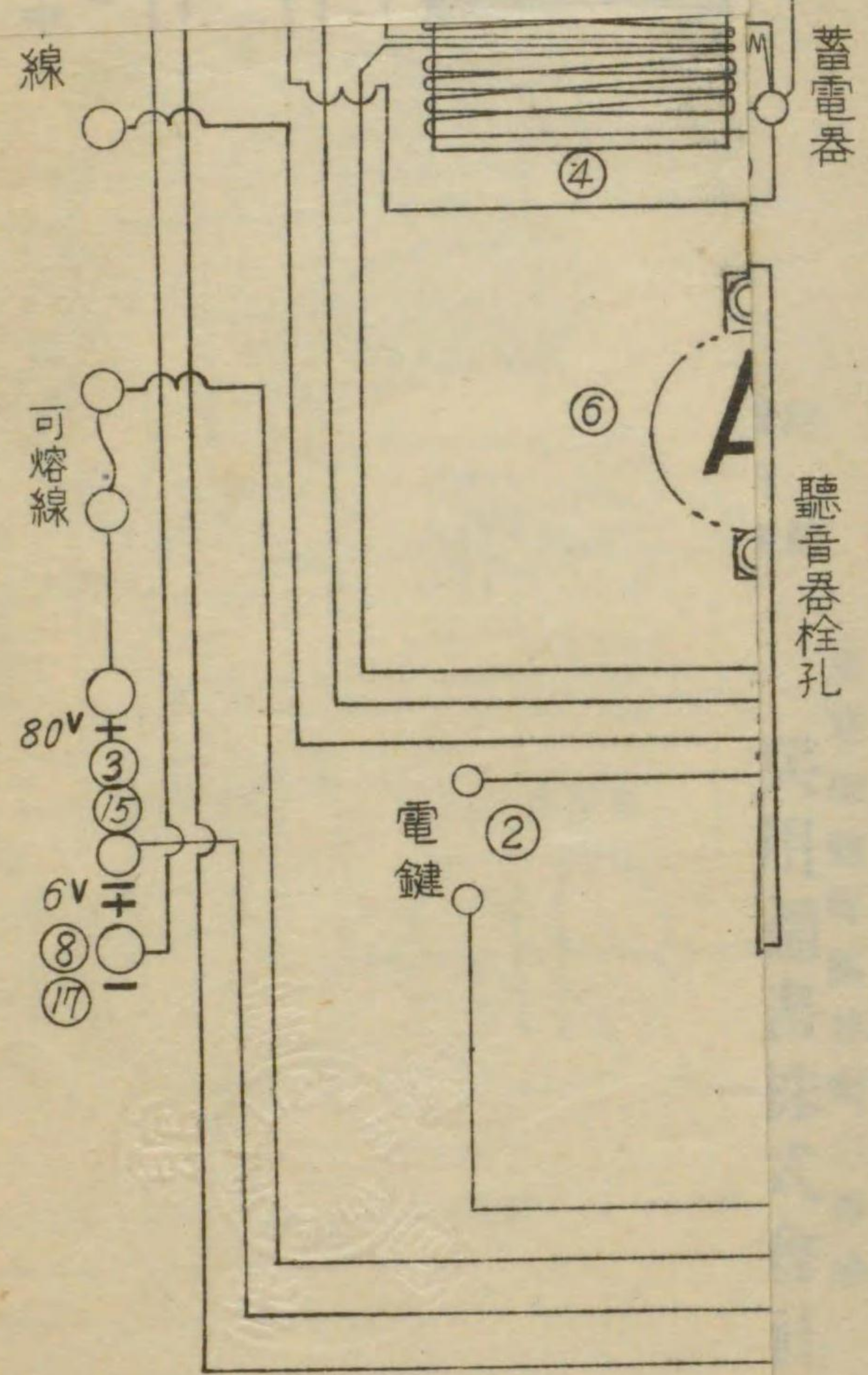


第六圖

小  
米



蓄電器目盛



(24) 第 千 五

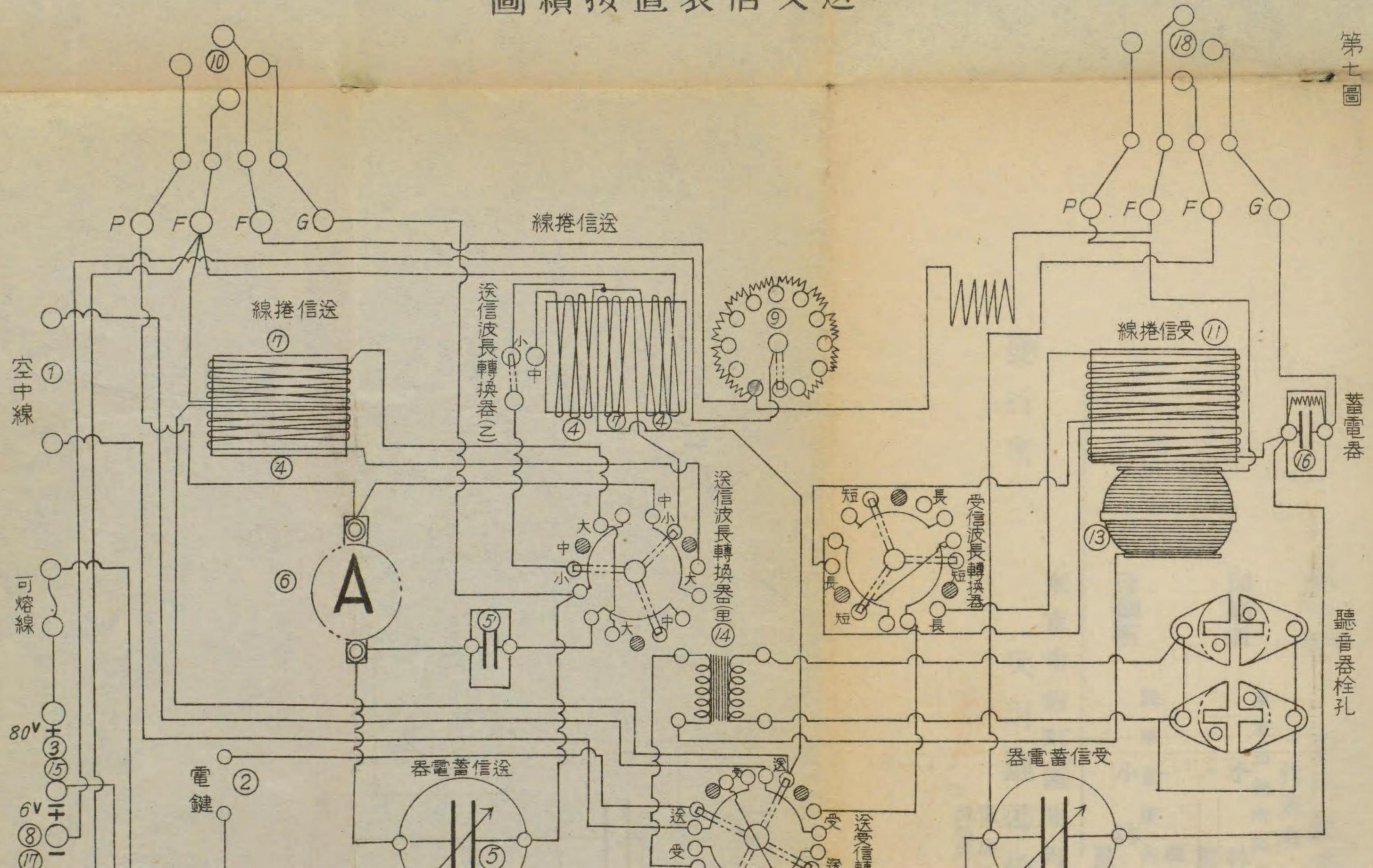
1800	0081
1700	0071
1600	0061
1500	0051
1400	0041
1300	0031
1200	0021
1100	0011
1000	0001
900	0001
800	0001
700	0001
600	0001
500	0001
400	0001
300	0001
200	0001
100	0001
0	0001

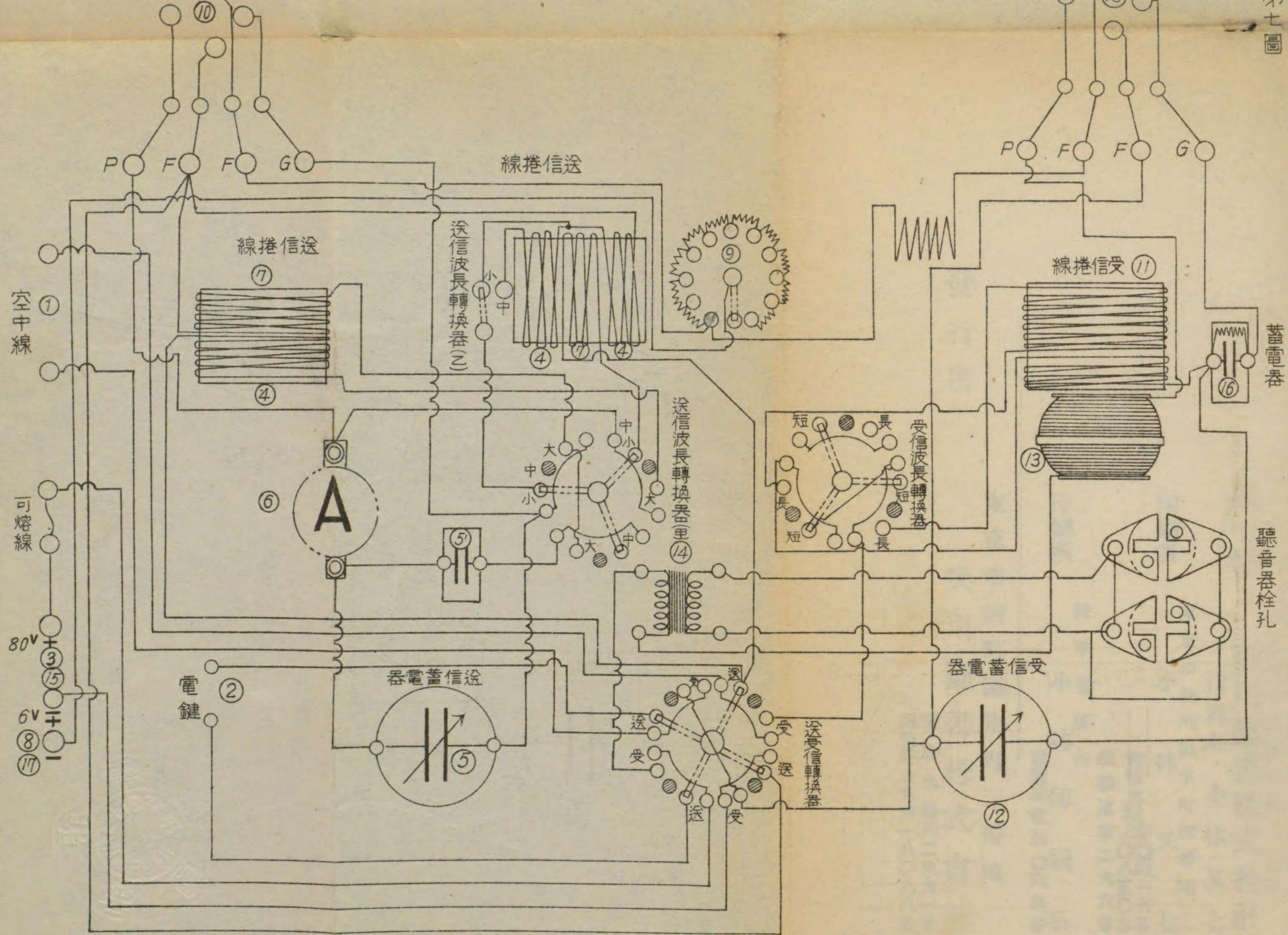
150 130 140 120 180 170 180



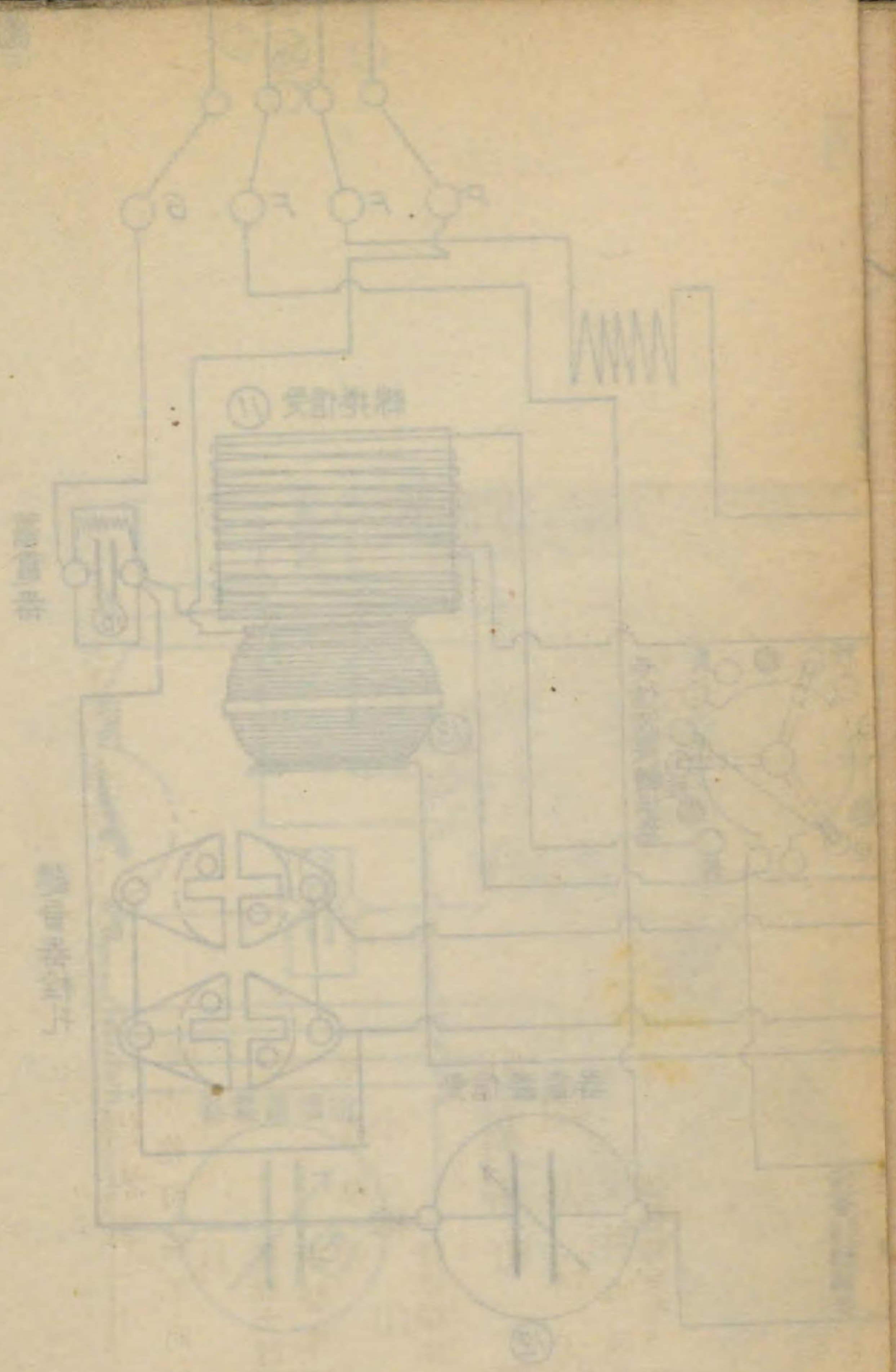
# 圖續接置裝信受送

第七圖





0001  
0002  
0003  
0004  
0005  
0006  
0007  
0008  
0009  
0010  
0011  
0012  
0013  
0014  
0015  
0016  
0017  
0018  
0019  
0020  
0021  
0022  
0023  
0024  
0025  
0026  
0027  
0028  
0029  
0030  
0031  
0032  
0033  
0034  
0035  
0036  
0037  
0038  
0039  
0040  
0041  
0042  
0043  
0044  
0045  
0046  
0047  
0048  
0049  
0050  
0051  
0052  
0053  
0054  
0055  
0056  
0057  
0058  
0059  
0060  
0061  
0062  
0063  
0064  
0065  
0066  
0067  
0068  
0069  
0070  
0071  
0072  
0073  
0074  
0075  
0076  
0077  
0078  
0079  
0080  
0081  
0082  
0083  
0084  
0085  
0086  
0087  
0088  
0089  
0090  
0091  
0092  
0093  
0094  
0095  
0096  
0097  
0098  
0099  
0100



昭和三年三月二十八日印刷  
 昭和三年四月一日發行

(持續電波式送受信練習機甲取扱法)

(定價金拾五錢)

翻刻  
 發行者

東京市麴町區隼町三番地

兵用圖書株式會社

代表者 小林又七

印刷者

東京市麴町區隼町四番地

小林又七

電話九段(33)〇〇四一九番  
 〇〇八五〇番  
 振替東京二九六番

印刷所

陸軍省構内

電話銀座三〇六九番

東京市麴町區隼町三番地

兵用圖書株式會社

電話九段(33)二九九一番  
 振替貯金東京一八〇八八番

發行所

民國十一年一月一日

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

